



**Kodak**

Trüper

3210 スキャナー  
3610 スキャナー

ユーザーズガイド

# 安全性について

---

## ユーザへの注意事項

- スキャナーは 31.75 kg (70 ポンド) 以上の重量に耐えられる安定した水平な場所に置き、スキャナーの周囲には十分なスペースを確保してください。
- スキャナーを移動する場合、2 名でスキャナーを持ち上げて、安全な方法で運んでください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所で使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを損傷しないよう注意してください（結ぶ、切る、改造するなどの行為を含む）。また、損傷した電源コードは使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、アースを付けてください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- 長時間スキャナーを使用しない場合は、電源コードをコンセントに差したままにしないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外してください。コダックサービスセンターにご連絡ください。
- 『ユーザーズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを解体、修理または改造しないでください。
- フラットベッドを製本していない原稿または単一ページ用に使用する場合、スキャン中は上部のふたを閉じたままにしてください。
- 電源コードとインターフェースケーブルが接続されたままでスキャナーを移動しないでください。コードとケーブルが損傷します。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- コダックが推奨するクリーニング手順に従ってください。エアー、液体、ガススプレークリーナを使用しないでください。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の安全データシート (MSDS) は、次のコダック Web サイトで入手できます。(www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号、またはキーワードを提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「アクセサリと消耗品」を参照してください。

ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものがあります（ただし、これに限りません）。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

## 環境に関する情報

- コダック Truper スキャナーは、全世界の環境要件に合致するように設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄りのコダック代理店にお問い合わせください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- コダック Truper スキャナーは、Energy Star に準拠しており、工場出荷時に 15 分の初期値に設置されています。

## ヨーロッパ連合



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集 / 回収プログラムの詳細については、最寄りのコダック代理店にお問い合わせください。または、[www.kodak.com/go/recycle](http://www.kodak.com/go/recycle) を参照してください。

REACH 規則 ((EC) No. 1907/2006) 第 59 (1) 条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、[www.kodak.com/go/REACH](http://www.kodak.com/go/REACH) を参照してください。

## 騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV  
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB (A).

[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV  
操作者位置の騒音は <70dB (A) 以下。]

## EMC 声明

### アメリカ合衆国

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス A デジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、商業環境で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置およびご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。住宅地でこの装置を使用すると、電波障害が起きる可能性があります。その場合はユーザの負担による解決が必要になることがあります。

### 日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

### 台湾

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

### 警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

### **中華人民共和國**

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

### **声明，该产**

此为A级产品，在生活环境中品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施

### **韓国**

この装置は、業務用の ENC 登録規格を取得しています。誤って販売または購入された場合は、家庭用の装置と交換してください。

이 기기는 업무용으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자

또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며, 만약 잘못 판매 또는

구입하였을 때에는 가정용으로 교환하시기 바랍니다.

### **ヨーロッパ連合**

警告：この装置はクラス A の製品です。この装置を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザが適切な対策を講じるように要求されることがあります。

**概要** 1-1

**設置方法** 2-1

**スキャナーの使用** 3-1

**拡張機能** 4-1

**ユーザ ユーティリティ** 5-1

**メンテナンス** 6-1

**トラブルシューティング** 7-1

**付録** A-E

# 1 概要

## 目次

オプションのアクセサリ .....	1-2
同梱品一覧 .....	1-2
スキャナーのコンポーネント .....	1-3
前面部：Trüper 3610 スキャナー .....	1-3
前面部：Trüper 3210 スキャナー .....	1-4
背面部：Trüper 3610 スキャナー .....	1-5
背面部：Trüper 3210 スキャナー .....	1-6
内部 .....	1-7

コダック Trüper 3210 および 3610 スキャナーを使用すると、少数数のスキャン作業の高速化が図れます。Trüper スキャナー独自の画像品質、耐久性、処理速度によって、サービスビューロ、多忙なオフィス環境、定型外書類のスキャンが必要な企業には魅力的な選択肢になっています。コダック Trüper 3210 スキャナー（ロータリー搬送とフラットベッド）、コダック Trüper 3610 スキャナー（ロータリー搬送専用）のいずれでも、多様なスキャンニーズに対応できます。



コダック Trüper 3610 スキャナー



コダック Trüper 3210 スキャナー

- コダック Trüper 3210 スキャナー — カラー、グレースケール、白黒の原稿を1分間に90ページスキャンが可能な両面スキャナーで、定形外の原稿スキャン用にフラットベッドを装備しています。
- コダック Trüper 3610 スキャナー — カラー、グレースケール、白黒の原稿を1分間に90ページスキャンが可能なロータリー専用両面スキャナーです。

**注：**本書に記載の手順は、特に注記がない限り、両モデルに共通しています。本書に掲載している図は、コダック Trüper 3610 スキャナーです。特定の部分やボタンなどの場所がコダック Trüper 3210 スキャナーと異なる場合は、両モデルを掲載しています。

## オプションのアクセサリ

**長尺原稿用ペーパーウエイト** — 長尺原稿のスキヤンをサポートするアクセサリです。このペーパーウエイトは、長い原稿がスムーズに搬送できる様に、均一な圧力を少しかけることで、長尺原稿の処理を改善します。コダック *Trüper* 3210 または 3610 スキャナーで使用します。CAT No. 109 2436

**インプリンタ** — 表面（スキヤン前）インプリンタは、ユーザが指定した英数字の文字列を、スキヤン *跡* に原稿の表面に印字します。

CAT No. 896 1955

**メモリ アップグレードキット** — 原稿サイズやスキヤン解像度などのスキヤン条件に応じて、追加のメモリが必要になる場合があります。たとえば、A3 などの大型原稿の両面スキヤンや、解像度 600 dpi のカラースキヤンではメモリの増設が必要な場合があります。メモリ増設用にメモリ アップグレードキットが用意されています。

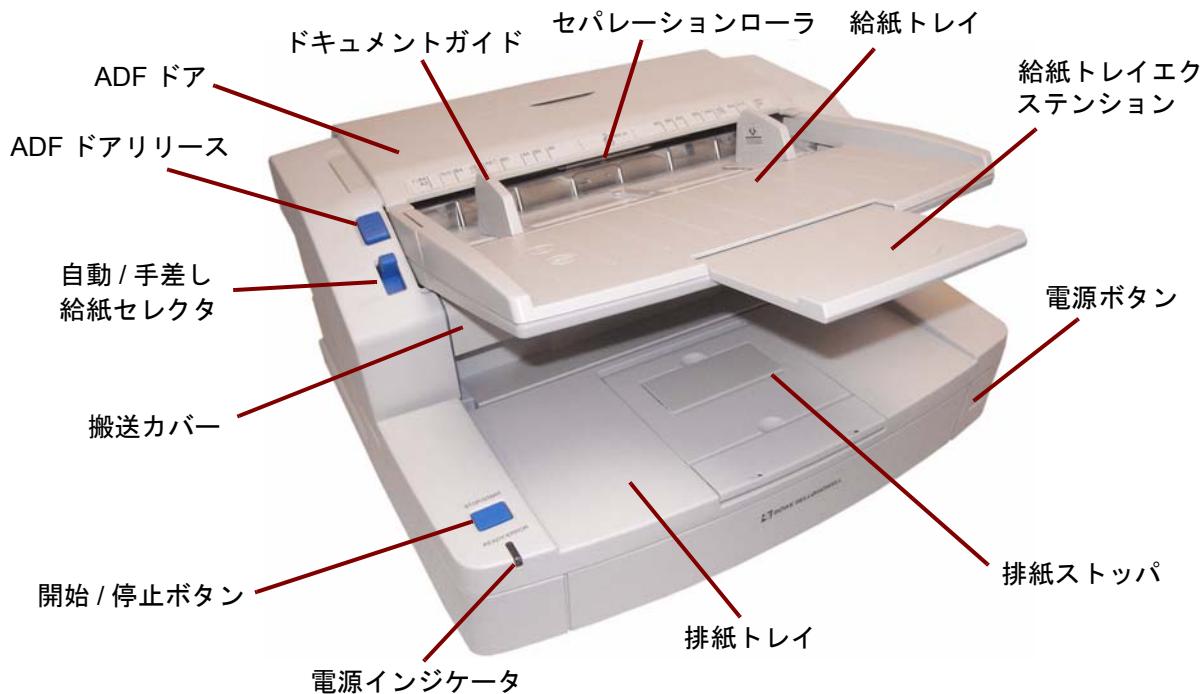
CAT No. 132 6313

## 同梱品一覧

- コダック *Trüper* 3210 または 3610 スキャナー
- 電源コード
- USB ケーブル
- ワイヤフレーム（3610 スキャナーのみ）
- シェーディング シート
- スタータクリーニング キット
- コダック *Trüper* クイック インストール ガイド
- 以下の内容を含むインストール CD
  - ユーザユーティリティ
  - ISIS/TWAIN ドライバ
  - VRS ソフトウェア
  - コダック *Trüper* ユーザガイド（各国語）
  - VRS ユーザマニュアルとリリースノート

## スキャナーのコンポーネント

### 前面部 — コダック Trüper 3610 スキャナー



**電源インジケータ** — スキャナーへの電源が供給されている場合に点灯します。

**[開始 / 停止] ボタン** — スキャンを開始または停止します。

**搬送カバー** — このカバーを開いて、内部コンポーネントにアクセスします。

**自動 / 手差し給紙セレクタ** — バッチ原稿を給紙する場合は、このセレクタを自動に設定します。原稿を 1 枚ずつ給紙する場合は、このセレクタを手差しに設定します。

**ADF ドアリリース** — このボタンを押すと ADF ドアが開きます。

**ADF ドア** — このドアを開いて、フィーダにアクセスします。

**ドキュメントガイド** — ドキュメントガイドを内側か外側にスライドさせて、スキャンする原稿のサイズに合わせます。

**セパレーションローラ** — 原稿給紙ローラによって、1 枚ずつ原稿を給紙させます。

**給紙トレイ** — 自動または手差しスキャン時に、原稿を正しく保持します。正しい順番でスキャンするために、原稿を上向きにセットします。

**給紙トレイエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、11 インチ (279.4 mm) より長い原稿サイズに対応できます。

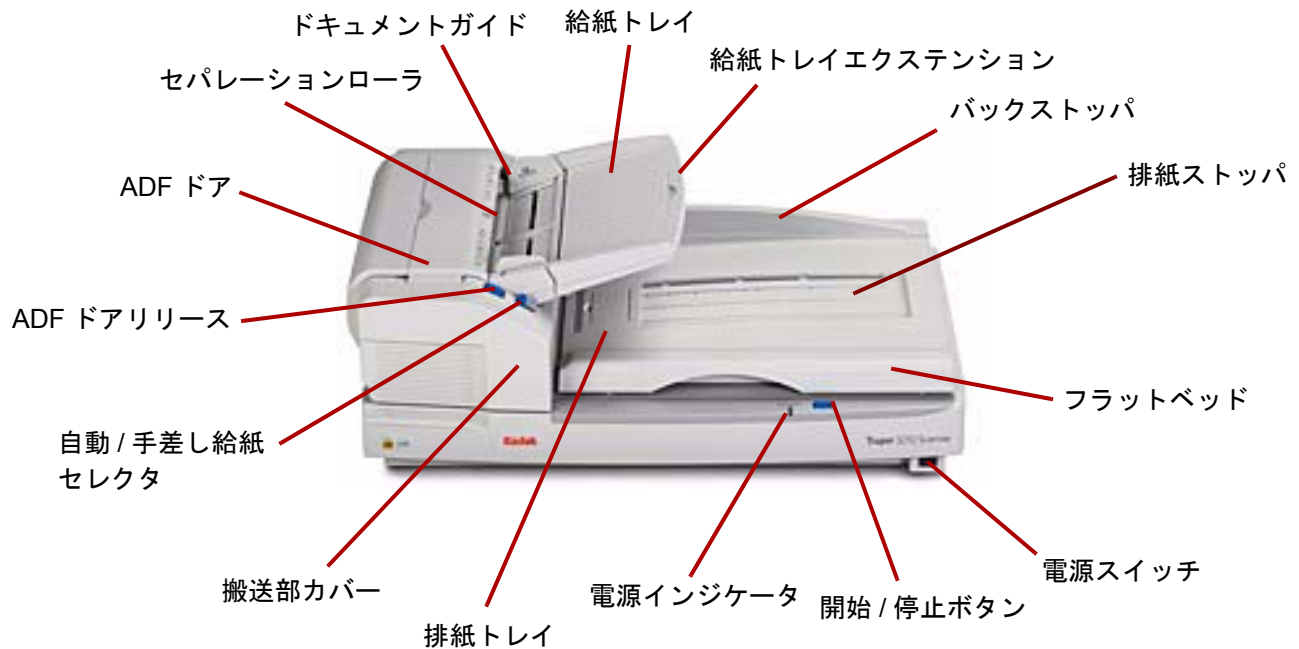
**電源ボタン** — このボタンを押して、スキャナーの電源を入れ直します。

**排紙ストッパ** — 排紙トレイ上の排紙ストッパは、スキャナーで給紙する原稿の長さに応じてセットできます。

**排紙トレイ** — スキャンされた原稿を収集します。スキャンされた原稿は、排紙トレイに伏せて排出されます。



## 前面 — コダック Trüper 3210 スキャナー



**排紙トレイ** — スキャンされた原稿を収集します。スキャンされた原稿は、排紙トレイに伏せて排出されます。

**搬送部カバー** — このカバーを開いて、内部コンポーネントにアクセスします。

**自動/手差し給紙セレクト** — バッチ原稿を給紙する場合は、このセレクトを自動に設定します。原稿を1枚ずつ給紙する場合は、このセレクトを手差しに設定します。

**ADF ドアリリース** — このボタンを押すと ADF ドアが開きます。

**ADF ドア** — このドアを開いて、スキャナーの内部コンポーネントにアクセスします。

**セパレーションローラ** — 原稿給紙ローラによって、1枚ずつ原稿を給紙させます。

**ドキュメントガイド** — ドキュメントガイドを内側か外側にスライドし、スキャンする原稿のサイズに合わせます。

**給紙トレイ** — 自動または手差しスキャン時に、原稿を正しく保持します。正しい順番でスキャンするために、原稿を上向きにセットします。

**給紙トレイエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、11 インチ (279.4 mm) より長い原稿サイズに対応できます。

**バックストップ** — 原稿がスキャナーから排紙された後、フラットベッドカバーを持ち上げた際に排紙トレイから原稿が落ちないようにします。

**排紙ストップ** — スキャナーを通過する原稿の長さに応じてセットするか、折りたたむことができます (図に表示されていません)。

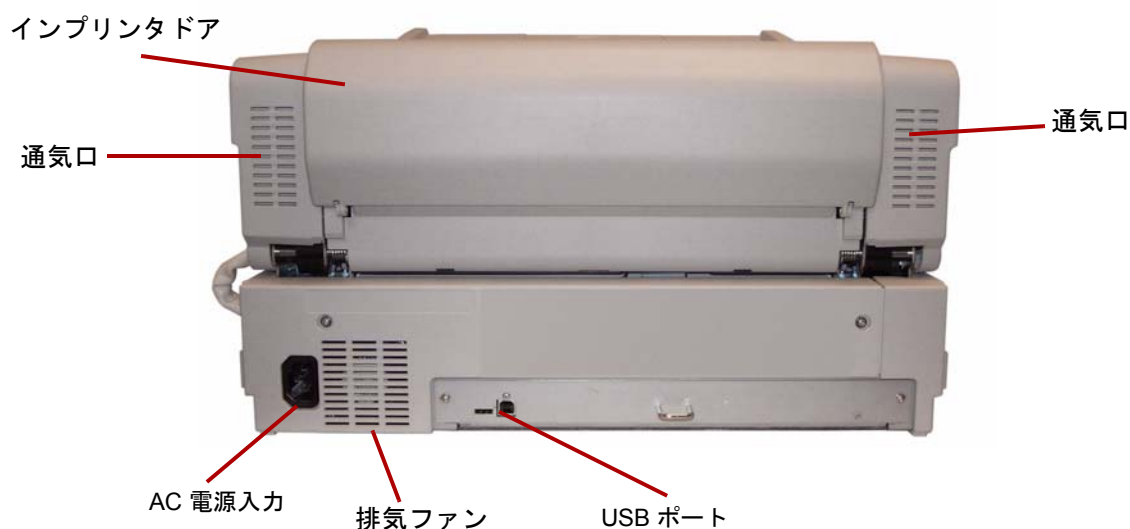
**フラットベッド** — 製本原稿、損傷が激しい原稿、定形外の原稿をスキャンする場合に使用します。

**電源スイッチ** — このボタンを押して、スキャナーの電源を入れ直します。

**[開始/停止] ボタン** — スキャンを開始または停止します。

**電源インジケータ** — スキャナーの状態を示します。スキャナーの状態についての詳細は、第7章の「スキャナーのLEDステータス」を参照してください。

## 背面 — コダック Trüper 3610 スキャナー



**USB ポート** — USB 2.0 ケーブルをスキャナーに接続します。

**排気ファンと通気口** — スキャナーを正しく稼働させるために、少なくとも1カ月に1回はこの部分を清掃してください。

**AC 電源入力** — 電源コードとスキャナーを接続します。

**インプリンタドア** — オプションのインプリンタをセットしたりメンテナンスできます。

## 背面 — コダック Trüper 3210 スキャナー



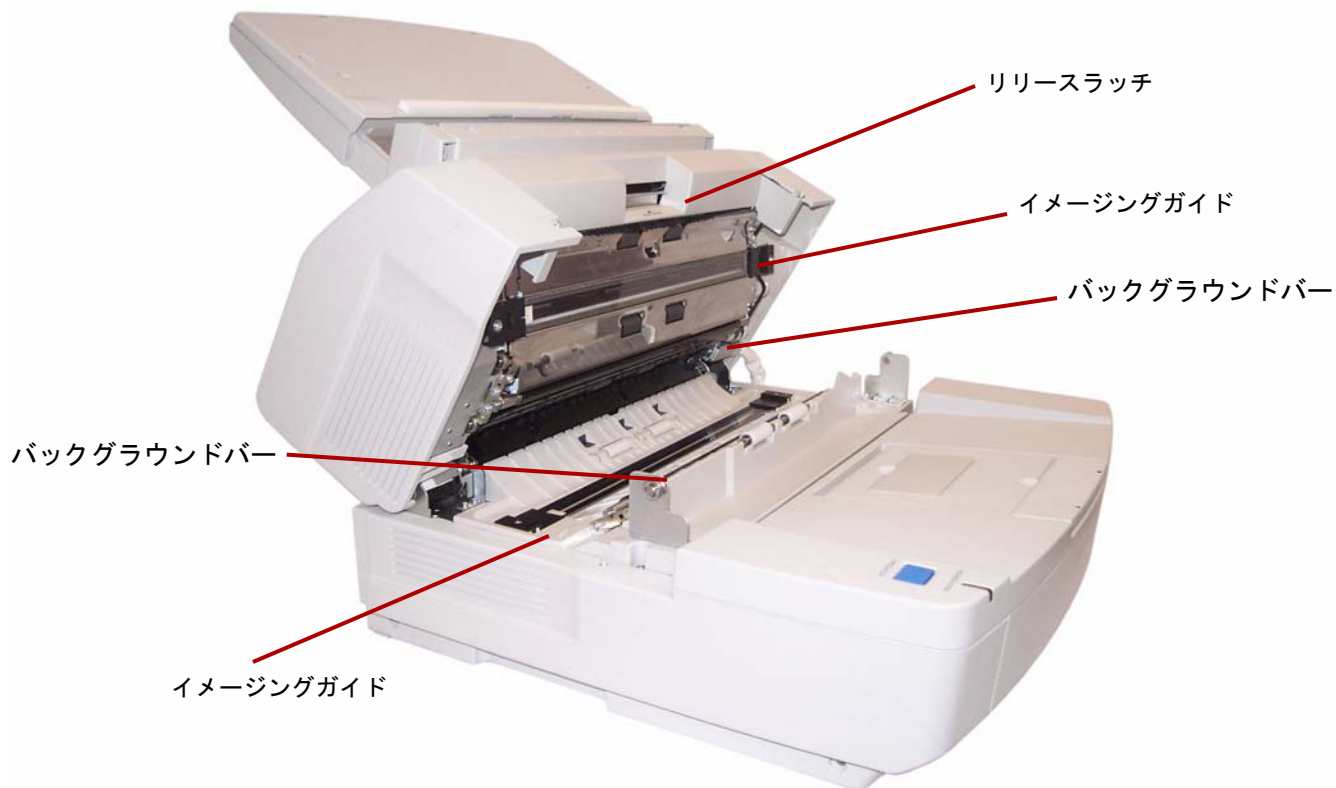
**USB ポート** — USB 2.0 ケーブルをスキャナーに接続します。

**排気ファンと通気口** — スキャナーを正しく稼働させるために、少なくとも 1 カ月に 1 回はこの部分を清掃してください。

**AC 電源入力** — 電源コードとスキャナーを接続します。

**インプリンタドア** — オプションのインプリンタをセットしたりメンテナンスできます。

内部 — 内部のコンポーネントは、両モデル共通です。



**イメージングガイド** — このガイドを通してスキャナーのカメラが原稿を認識します。ランプ照明がこのガイドを通して原稿に照射されます。

**バックグラウンドバー** — 上下のバーを裏返して、スキャン原稿の背景色を変更できます。黒または白の背景が選択できます。

**リリースラッチ** — このリリースレバーを上を押すと、搬送部カバーが開きます。

## 2 設置方法

---

### 目次

インストール時の確認事項.....	2-1
給紙トレイの取り付け.....	2-2
接続.....	2-2
Windows 用のスキャナードライバのインストール.....	2-3
ソフトウェアのインストール.....	2-4
ステップ 1 : ユーザユーティリティ.....	2-4
ステップ 2 : ISIS/TWAIN ドライバ.....	2-5
ステップ 3 : VirtualReScan.....	2-5
ステップ 4 : アプリケーション.....	2-5
ユーザユーティリティ.....	2-6
説明書の表示.....	2-6

### インストール時の確認事項

- スキャナーの開梱後も、後日必要になった場合に備えて、梱包箱や梱包用資材を保存しておくことをお勧めします。詳細は、付録 E、「スキャナーの梱包」を参照してください。
- コンピュータのシステム要件については、付録 A の「仕様」を参照してください。
- 給紙トレイの取り付けについては、本章の「給紙トレイの取り付け」を参照してください。
- スキャナーの接続については、本章の「接続」を参照してください。
- ソフトウェアのインストールについては、本章の「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

これでスキャンの準備が整います。スキャンについての操作説明は、スキャンアプリケーションまたは文書管理ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## 給紙トレイの取り付け

1. 給紙トレイ左側にあるピンをフィーダの左側にある穴に差し込んで取り付けます。



2. 給紙トレイ右側にあるピンをフィーダの右側にある穴に差し込んで取り付けます。ピンを穴の位置に揃えるには、若干力を加える必要があります。

## 接続

1. ホスト PC の電源を切ります。
2. 電源コードをスキャナー背面の AC 電源入力に接続してから、コンセントに差し込みます。
3. USB ケーブルを、ホスト PC の USB 2.0 ポートに接続し、もう一方をスキャナーの USB ポートに接続します。



AC 電源入力

USB ポート

注：スキャナーを USB ハブに接続しないでください。動作保証はありません。

## Windows 用のスキャナードライバのインストール

1. [電源] ボタンを押して、スキャナーの電源を入れます。



電源インジケータがオレンジ色で点滅し、その後スキャナーの準備が完了すると緑色で点灯します。

2. ホスト PC の電源を入れます。

**Windows 2000、Windows XP、Windows Vista の場合：** 管理者権限でログインします。Windows がスキャナーを検出し、[新しいハードウェアの検出] ウィザードを起動します。

3. [新しいハードウェアの検出] ウィザード画面で、[次へ] をクリックします。
4. [ソフトウェアを自動的にインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. **CD-ROM ドライブ** を選択して、[次へ] をクリックします。
6. インストール CD を、ホスト PC のドライブに挿入します。
7. Windows がデバイスドライバを検出したら、[次へ] をクリックします。

注：Windows がドライバファイルを検出できない場合は、ダイアログボックス内の [参照] ボタンをクリックします。フォルダ **D:\\$minidriver** に移動します。「D」はインストール CD のドライブです。ファイルを要求されなかった場合は、次の手順に進みます。

Windows XP の互換性についてのメッセージが表示されたら、[続行] をクリックします。

8. [新しいハードウェアの検出] ウィザードのドライバインストールを終了します。[完了] をクリックします。
9. ホスト PC を再起動します。

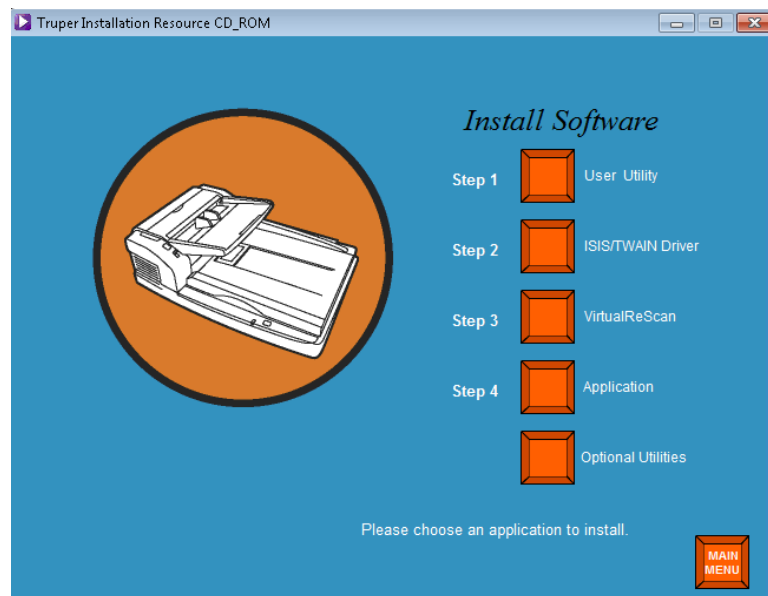
## ソフトウェアのインストール

1. インストール CD を、ホスト PC の CD-ROM ドライブに挿入します。インストールが自動的に開始します。

注：インストールが自動的に開始しない場合は、[スタート]>[ファイル名を指定して実行]を選択し、[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスに D:¥ と入力します。「D」はインストール CD ドライブです .setup.exe ファイルをダブルクリックし、[インストール]メニューを開きます。

2. [言語] ダイアログボックスから該当する言語を選択して、[OK] をクリックします。
3. メインメニューからソフトウェアをインストールするには Trüper スキャナーのイメージをクリックします。
4. [ソフトウェアのインストール] をクリックします。

ここまでの手順が完了したら、以下のインストールを続けます。ユーザーユーティリティ、ISIS/TWAIN ドライバ、VirtualReScan、アプリケーション、オプションのユーティリティ。



### ステップ 1: ユーザーユーティリティ

1. [ステップ 1 ユーザーユーティリティ] をクリックします。
2. 使用許諾書を読み、[はい] をクリックして同意します。
3. [次へ] をクリックして、プログラム ファイルの初期設定の保存先を選択します（推奨）。ファイルを別フォルダにインストールするには、[参照] をクリックして、別な保存先を選択し、[フォルダの選択] ウィンドウで [OK] をクリックします。
4. [次へ] をクリックして初期設定されているプログラムのアイコンを選択します。ユーザーユーティリティがインストールされます。
5. 完了したら、[終了] をクリックします。ユーザーユーティリティのオンライン ヘルプ ファイルがインストールされます。
6. [次へ] をクリックして続行します。
7. オンライン ヘルプ ファイルをインストールしたら、[終了] をクリックします。



## ステップ 2 : ISIS/TWAIN ドライバ

1. [ステップ 2 ISIS/TWAIN ドライバ] をクリックします。
2. 使用許諾書を読み、[はい] をクリックして同意します。
3. 他のすべての Windows プログラムを閉じて、[次へ] をクリックします。
4. インストールが完了したら、[コンピュータをすぐに再起動する] を選択して、[終了] をクリックします。

## ステップ 3 : VirtualReScan

1. [ステップ 3 VirtualReScan] をクリックします。

注：インストールが開始するまでしばらく待ちます。インストールの進行状況を示すメッセージが表示されます。( [VRS のインストール中...]、お待ちください! のメッセージがインストール終了後に消えます)。

2. インストールが完了すると、PC の再起動を要求されます。ダイアログボックスで [はい] をクリックします。

## ステップ 4 : アプリケーション

1. [ステップ 4 アプリケーション] をクリックして、スキャン用アプリケーションをインストールします。

**ドライバの選択 : VRS との接続機能を持ったスキャン用アプリケーションの場合**

VirtualReScan は、ほとんどのスキャン用アプリケーションとの互換性があります。スキャン用アプリケーションを起動すると、スキャナーまたはスキャナーソースの選択を要求されることがあります。アプリケーションによって、以下のいずれかを選択します。

- ImageControl アプリケーションでは、スキャナーソースを以下に設定してください。Trüper 3210/3610、SVRS 付き。
- ISIS アプリケーションでは、スキャナーを以下に設定してください。Kofax VRS スキャナー。これはこの設定用に承認されている ISIS ドライバです。Trüper 3210/3610 を選択しないでください。
- TWAIN アプリケーションでは、スキャナーを以下に設定してください。Kofax ソフトウェア VRS - TWAIN。

注：詳細については、アプリケーションの販売業者などにご確認ください。

### Direct ISIS に接続可能なスキャン用アプリケーション

場合によっては、PixTools に基づく ISIS アプリケーションが、推奨している VRS ベースの ISIS ドライバに対応していないことがあります。ご使用のスキャン用アプリケーションの販売元に、VRS との互換性があるか、Direct ISIS ドライバが必要かをご確認ください。Direct ISIS との接続用には、以下のドライバを選択してください。

- ISIS アプリケーション スキャナーの選択 : 3210/3610。これは直接接続用に承認されている ISIS ドライバです。

### TWAIN 接続機能を備えたスキャン用アプリケーション

場合によっては、TWAIN アプリケーションが、推奨している VRS ベースの TWAIN ドライバに対応していないことがあります。ご使用のスキャン用アプリケーションの販売元に、VRS との互換性があるか、Direct TWAIN ドライバが必要かをご確認ください。Direct TWAIN との接続用には、以下のドライバを選択してください。

- TWAIN アプリケーション スキャナーの選択：**3210/3610**。これは直接接続用に承認されている TWAIN ドライバです。

- オプションのユーティリティ
1. [ソフトウェアのインストール] 画面で [オプションのユーティリティ] をクリックします。
  2. [オプションのユーティリティ] 画面で [ScanDemo] を選択し、このアプリケーションをインストールします。

### 説明書の表示

コダック Trüper 3210/3610 のユーザガイドと VRS の説明書がインストール用リソース CD に収録されています。

注：説明書を表示するには Adobe Acrobat Reader が必要です。

1. PC にインストール CD を挿入します。
2. 使用する言語を選択します。
3. メインメニューで [説明書を表示] をクリックします。
4. 表示する説明書を選択します。

## 3 スキャナーの使用方法

---

### 目次

スキャナーの準備 .....	3-1
給紙モードの決定 .....	3-2
スキャナーの調整 .....	3-3
ワイヤーフレームの取り付け .....	3-4
バックグラウンドバーの変更 .....	3-5
フラットベッドのバックグラウンドシートの変更 .....	3-6
[ 開始 / 停止 ] ボタンの機能 .....	3-6
原稿の準備 .....	8-3
原稿のスキャン .....	3-9
フラットベッドを使用したスキャン (3210 スキャナー) .....	3-11

### スキャナーの準備

1. 電源ボタンをオン (I) にします。スキャナー前面にある電源インジケータがオレンジ色で点滅し、その後緑色で点灯します。電源インジケータの詳細については、第 7 章の「スキャナーの LED ステータス」を参照してください。
2. スキャナーの電源インジケータが緑色で安定したら、PC の電源を入れます。
3. 給紙モードの決定：自動はバッチスキャン用で、手差しは 1 枚ずつ給紙する場合に適しています。詳細については、次の「給紙モードの決定」を参照してください。
4. サイドガイドと排紙ストップを調整して、バックグラウンドバーなどを変更し、原稿のスキャン要件に合わせます。詳細については、この章の「スキャナーの調整」を参照してください。

## 給紙モードの決定

スキャナーには自動/手差しの給紙セレクタスイッチがあります。スキャン要件に応じて、このスイッチを正しい位置に設定する必要があります。自動モードまたは手差しモードでスキャンできます。



**自動モード**— 原稿をまとめてスキャンする場合は、自動モードを選択します。給紙セレクタスイッチを、上の位置に設定します。自動を使用すると、バッチスキャン毎に給紙トレイを下げ、スキャンをすぐに再開できます。自動モードでの原稿給紙方法：

1. 給紙セレクタスイッチを**自動**に設定します。フィーダが自動給紙位置を自動調整します。
2. スキャン原稿のサイズに合わせてドキュメントガイドが調節されていることを確認します（バッチ原稿のサイズよりも若干広く設定します）。
3. PC上でスキャン用アプリケーションの**【開始/バッチ】**ボタンをクリックします。フィーダトレイに原稿をセットします。フィーダトレイが自動的に持ち上がり、フィーダトレイ内のバッチ原稿が自動的に給紙されます。

**手差しモード**— 1枚ずつ原稿を給紙したい場合や、厚い原稿をスキャンする場合に手差しモードを選択します。給紙セレクタスイッチを、下の位置に設定します。複数原稿やバッチでの給紙には手差しモードはお勧めできません。



1. 給紙のスイッチを手差しにします。フィーダは手差し給紙位置に合わせて自動的に調整します。
2. スキャン原稿のサイズに合わせてドキュメントガイドが調節されていることを確認します（スキャンする原稿のサイズよりも若干広く設定します）。
3. フィーダトレイに原稿を1枚、上向きに挿入します。

## スキャナーの調整

原稿をスキャンする前に、ドキュメントガイド、給紙トレイエクステンション、排紙ストッパを調整して、スキャン原稿のサイズに合わせてください。異なるサイズの原稿をスキャンする場合は、必要に応じてワイヤフレームを使用できます。

- フィーダトレイ上のドキュメントガイドはスキャンする原稿の大きさに合わせて調節できます。
- 11 インチ (279.4 mm) より長い原稿をスキャンする場合は、給紙トレイエクステンションを引き出します。給紙トレイエクステンションは15 インチ (381 mm) の長さまでの原稿に対応します。
- 排紙トレイで長い用紙を扱うには、排紙ストッパを伸ばします。原稿の長さに合わせて、排紙ストッパの位置を調整します。排紙ストッパは17 インチ (432 mm) まで調整可能です。17 インチ (432 mm) または A3 サイズ (420 mm) より長い原稿をスキャンする場合は、排紙トレイに長い紙が収まるように排紙ストッパを畳みます。



- 異なるサイズの原稿を給紙する場合は、原稿の排紙を補助するためにワイヤフレームを取り付けます。詳細については、次のセクション、「ワイヤフレームの取り付け」を参照してください。

- ワイヤーフレームの取り付け 1. 排紙口のドアの開放レバーを引き排紙ドアを開けます。



2. ワイヤーフレームアクセサリは、排紙ドアリリースの両側に取り付けてください。



3. ワイヤーフレームアクセサリを、排紙ドアリリースのシャフトにひっかけます。



4. しっかりと固定されるまで、ワイヤーフレームを前に引き出します。  
5. 排紙ドアを静かに閉めます。

## バックグラウンドバーの変更

スキャナー内部には上下に2つのバックグラウンドバーがあります。各バーに白と黒の面があります。このバーは簡単に切替えます。バックグラウンドの色は、スキャンしたイメージのクロッピング機能に影響するので重要です。

ほとんどの場合は、黒のバックグラウンドで原稿をスキャンします。黒のバックグラウンドは、非常に明るいコントラストの原稿のイメージング品質を向上し、色を均一にします。

透過性の高い原稿をスキャンする場合は白のバックグラウンドを使用する必要があります。白のバックグラウンドによって、黒いバックグラウンドでの黒色の透けを防ぎ、背景が白いイメージが生成されます。

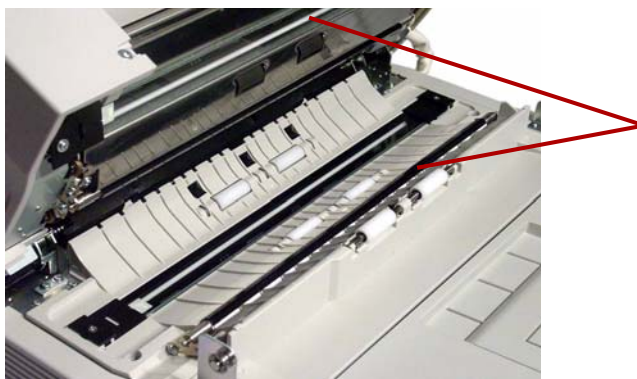
ご使用のスキャン用アプリケーションのバックグラウンド色の設定は、実際のバックグラウンドバーの色と一致している必要があります。

バックグラウンドバーの変更方法：

1. スキャナーの電源を落として、排紙ドアを開きます。



2. 下のバックグラウンドバーの右端に指を置き、左側に押します。バックグラウンドバーを切り返します。バックグラウンドバーから指を離して、適切な位置であることを確認します。



3. 上のバックグラウンドバーの左端に指を置き、右側に押します。バックグラウンドバーを切り返します。バックグラウンドバーから指を離して、適切な位置であることを確認します。

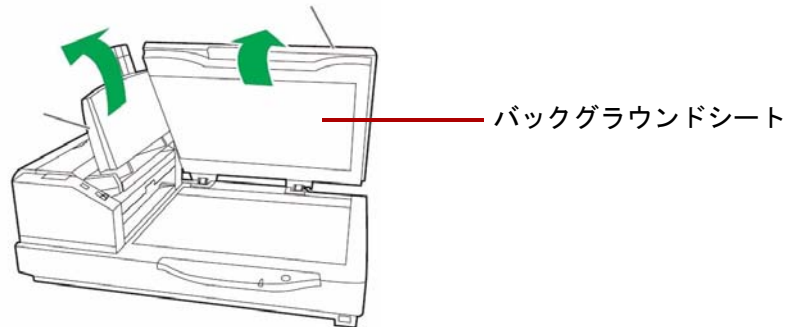
上下のバックグラウンドバーは同じ色にしてください。

4. 排紙ドアを静かに閉じて、スキャナーの電源を入れます。

## フラットベッドのバックグラウンドシートの変更 — 3210 スキャナーのみ

フラットベッドのバックグラウンドシートは一方が黒で、裏面が白になっています。バックグラウンドシートの色はデフォルトでは黒に設定されています。バックグラウンドシートの色を変更するには、以下の手順を実行してください。

1. スキャナーの電源を落とします。
2. フィーダトレイを上に戻します。
3. フラットベッドカバーを開きます。



4. 磁力で付いているバックグラウンドシートを丁寧に引き出し、原稿カバーからはがしてください。
5. バックグラウンドシートを裏返して、バックグラウンドに使用する色をフラットベッドガラス側に向くようにします。
6. バックグラウンドシートの四隅をブラケットに固定して、シートを再度原稿カバーに取り付けます。

## [開始/停止] ボタンの機能

[開始 / 停止] ボタンは、操作モードにより機能が異なります。

**緊急停止モード（デフォルト）** — スキャナーが実行しており、給紙中の場合は、青い [開始/停止] ボタンを押すと、スキャナー内の用紙がすぐに停止します。これはデフォルトに設定されています。

重送が発生している場合は、[準備完了/エラー] ランプが緑とオレンジで交互に点滅するまで、このボタンを押し続け、次の給紙で重送されないようにします。



## 原稿の準備

ADF（自動ドキュメントフィーダ）を使用してスキャンする場合は、『自動ドキュメントフィーダ機能 (ADF) ガイドライン』に従ってください。

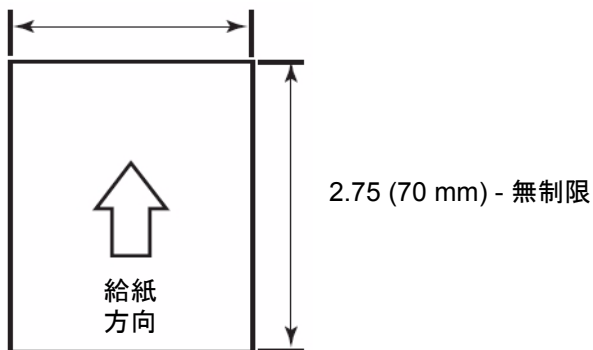
- 標準用紙サイズ of 原稿は、スキャナーで簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えてフィーダトレイの中央に来るようにセットします。これにより、フィーダから原稿が1枚ずつスキャナーに送られるようになります。

**最大の厚さ** : 2.0 ~ 5.9 mils (0.05 ~ 0.15 mm)

**最大重量** : 10.6 ~ 34 ポンド (40 ~ 127 g/m<sup>2</sup>)

- ADF でスキャン可能な原稿サイズ :

1.57 ~ 11.70 インチ (40 ~ 297 mm)



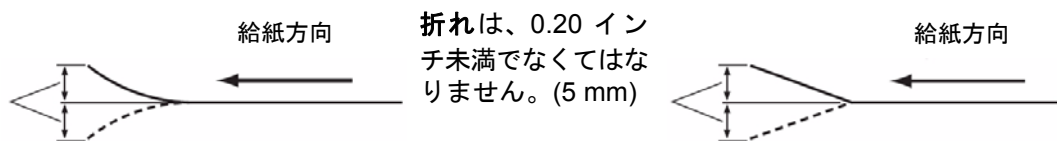
- ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が破損する場合があります。
- のり付けされた紙、折れ曲がった紙などは紙詰まりの原因となり、ADF 損傷の原因となります。
- スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクと修正液が乾燥していることを確認してください。
- フィーダトレイに入れる文書の高さは、ドキュメントガイドの右側にある制限の印を飛び出さないようにしてください。以下の表は、給紙トレイにセットできる原稿の枚数を示します。

用紙重量 (ポンド)	11	14	17	20	21	24	28	34
用紙重量 (g/m <sup>2</sup> )	40	52	64	75	80	90	104	127
最大枚数	320	260	200	170	160	140	120	100

- 非常に厚い、または非常に薄い原稿は、ADF に手差しで1枚ずつ給紙します。あるいは、3210 スキャナーをご使用の場合は、フラットベッドを使用します。

- 曲がったり、しわがあったり、折りたたんだ原稿は、正しくスキャンできない場合があります。曲げや折りたたみの許容範囲については、以下を参照してください。

原稿のカーブは、0.20 インチ未満でなくてはなりません。(5 mm)



次に挙げる種類の原稿は、ADF 内の紙詰まりや重送の原因となります。

- OHP シート、プラスチックフィルム、布、メタリックシート
- 見出しタブ、ホチキス、糊づけ等の凹凸のある用紙
- 厚さがあるか、または凹凸のある封筒などのような用紙、貼り合わせてあるもの
- 感熱紙、熱に弱い用紙
- トレーシングペーパー
- 破れ、またはシワのある原稿
- 写真
- コーティングされた紙
- クレジットカードや免許証など厚みがあるプラスチックのカード
- 破れている用紙、切り込みや穴、パンチ穴やミシン目の入った原稿
- 非常になめらかな用紙や光沢紙
- 織り目加工のついた用紙
- カーボンシート
- ノンカーボンシート (NCR)

## 原稿のスキャン

1. 前の「原稿の準備」に記載されたガイドラインに従って、スキャンするバッチ原稿を準備します。
2. 給紙トレイにスキャン原稿を上向きにセットします。原稿をスキャナーの搬送部に丁寧に挿入します。

注：

- 給紙トレイには用紙を入れすぎないでください。給紙トレイの用紙制限マークを超えないように、原稿をセットしてください。



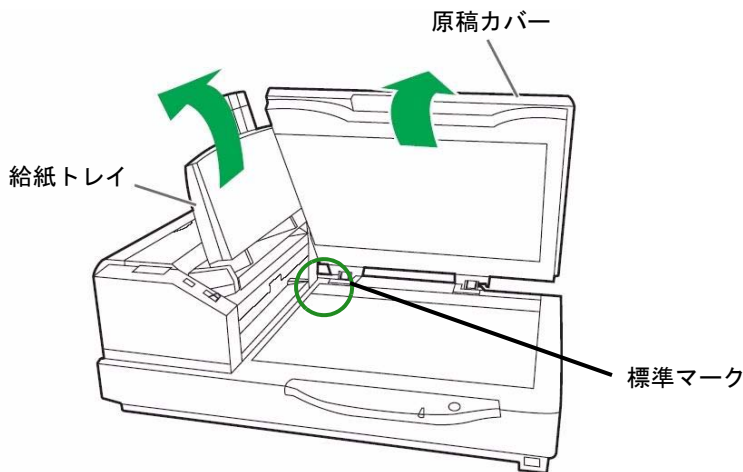
- ADF ドアのガイドに示された原稿サイズ表示と、[上向き] 方向を示すアイコンを参考にして下さい。
  - サイズの異なる複数の原稿をスキャンする場合は、ワイヤーフレームを使用します。
3. これでスキャンの準備が完了しました。詳細については、ご使用のスキャン用アプリケーション、または文書管理ソフトウェアの説明を参照してください。スキャナー設定は、スキャナー選択後の [プロパティ] ウィンドウで行うことができます。詳細については、第 4 章、「拡張機能」を参照してください。

## フラットベッドを使用したスキャン (3210 スキャナー)

3210 スキャナーでは、フラットベッドを使用して、定形外の原稿を 1 枚ずつ、またはスキャン前に切り離したくない原稿（書籍や雑誌など）をスキャンすることができます。

注：フラットベッド上には、フロッピーディスクや、磁気媒体を含むその他のものを配置しないでください。

1. 固定されるまで給紙トレイを上に戻します。
2. 原稿カバーを開きます。



3. スキャン用アプリケーションで、[ フラットベッドモード ] を選択します。
  4. フラットベッドガラスの左上の端に原稿を伏せてセットします。
  5. 原稿の短辺を、フラットベッドガラスの左端に沿ってセットします。標準マークに合わせます。
  6. 原稿の長辺をフラットベッドガラスの上端に沿ってセットします。標準マークに合わせます。
- 注：原稿が正しくセットされないと、正しくスキャンできません。
7. 原稿カバーを静かに閉じます。

注：

- 厚い原稿をスキャンする場合は、フラットベッドガラスに触れている部分だけがスキャンされます。
- スキャン中は原稿カバーを開いたり、押さえたりしないでください。
- 連続する原稿に対してフラットベッドを使用する場合は、給紙トレイを持ち上げたままにしてください。1 枚ずつ原稿をスキャンする場合にのみ、原稿カバーを開閉します。

## 4 拡張機能

---

### 内容

拡張機能の使用.....	4-1
[Preset] タブ.....	4-4
[Layout] タブ.....	4-5
[Paper Handling] タブ.....	4-7
[Image Processing] タブ.....	4-10
[About] タブ.....	4-14

この章では、コダック *Truper* 3210 と 3610 スキャナーで使用できる拡張機能について説明します。拡張機能の操作は、VirtualReScan® (VRS) Interactive Viewer から提供されます。

注：

- VRS をインストールしていない場合は、Direct ISIS および TWAIN の設定にも類似の設定があります。
- VRS の使用中は、拡張機能の一部が使用できません。

## 拡張機能の使用

VRS Interactive Viewer を使用するには、スキャナーが接続されているホスト PC に VRS Professional ソフトウェアをロードします。使用するスキャン用アプリケーションを起動し、VRS スキャンソースを検出すると、VRS Professional が起動します。使用する VRS ドライバによって、以下の 3 種類のスキャンソースがあります。

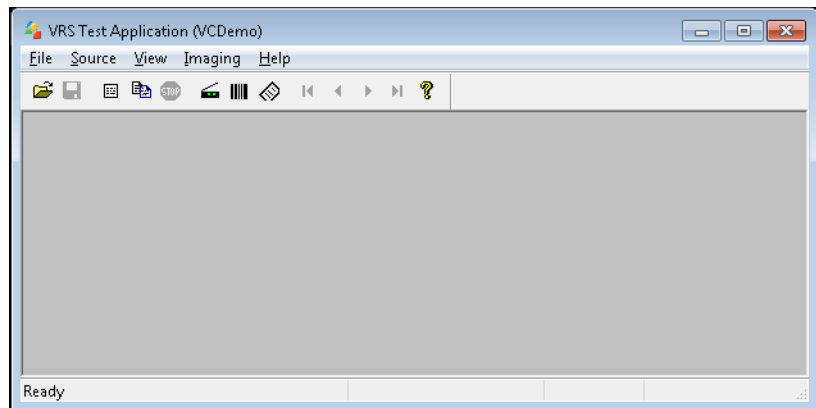
- VRS ImageControls® ベースのアプリケーション
- VRS ISIS ベースのアプリケーション
- VRS TWAIN ベースのアプリケーション

注：このユーザガイドでは、VRS ベースのスキャン設定について説明します。

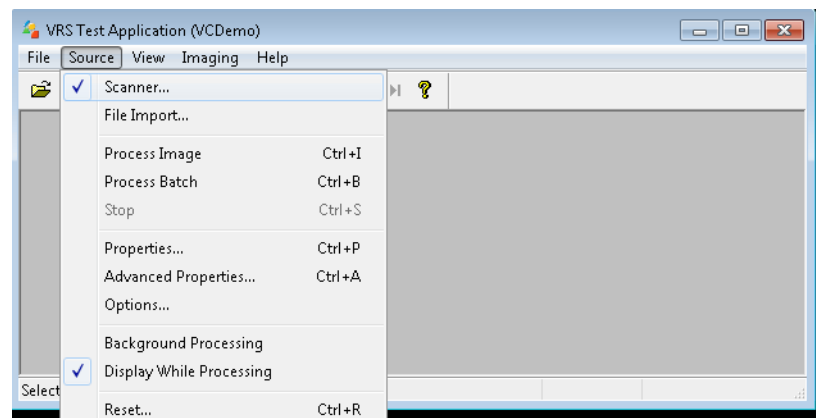
VRS テストアプリケーションを開く：

### 1. [VRS Test Application] を選択します。

[VRS Test Application (VCDemo)] 画面が表示されます。

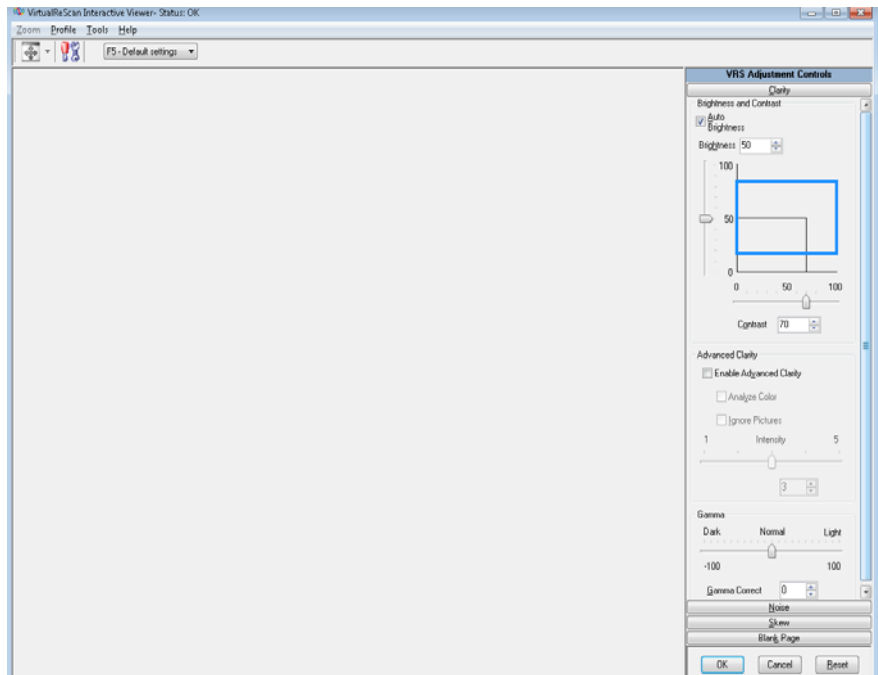



### 2. [Scanner]>[Source] を選択して、スキャナーに接続します。



### 3. スキャナーを接続したら、[Source]>[Advanced Properties] を選択して、スキャナーのプロパティを設定します。

4. [VirtualReScan Interactive Viewer] ウィンドウが表示されます。



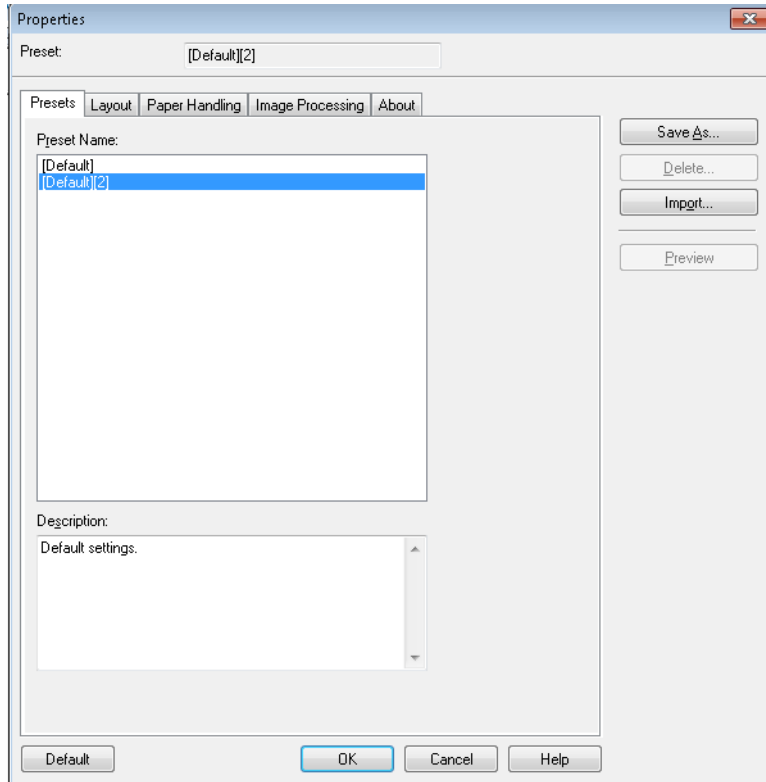
5. Interactive Viewer にある、[Scanner Driver Settings] アイコンをクリックして  [Properties] ウィンドウを表示し、拡張機能を開きます。

注：[Virtual Rescan Interactive Viewer] の右側のタブの機能については、インストール CD の VRS 説明書を参照してください。以下の様な機能が用意されています。

- **自動方向検出** — [Skew] ボタンにあります。90 度単位で文字の方向を検出してイメージを回転します。
- **パンチ穴除去** — [Noise] ボタンにあります。原稿の端にある穴を埋めることができます。埋められる穴のタイプは、次のとおりです。円、長方形、不定形（例、二穴が開いている、またはバインダーからドキュメントを取り外した際に発生した多少の裂け目など）。
- **白紙ページ検出** — [Blank Page] ボタンにあります。白紙のイメージを除外する様に設定できます。

## [Preset] タブ

[Preset] タブによって、スキャナー設定をカスタマイズして保存することができます。設定内容は新しいプリセット名で保存します。

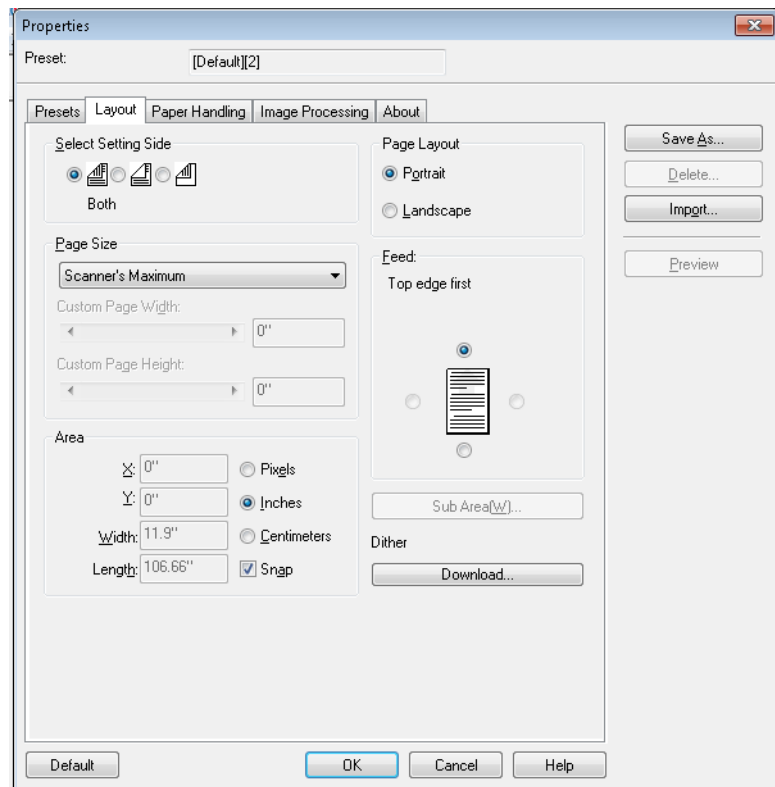


1. **[ Save As ]** をクリックして、プリセット名を入力します。
2. 引き続き他のタブをクリックして、このプリセット用のプロパティを設定します。



## [Layout] タブ

[Layout] タブには、以下のオプションがあります。



**Select Setting Side** — ページ設定を行うイメージ面を選択します。[Both (両面)]、[Front (表面)]、[Back (裏面)] が選択できます。

**Page Size** — スキャナーが最初に選択されたときの初期設定の用紙サイズを設定します。ドロップダウンリストからさまざまな用紙サイズを選択できます。

- **Custom Page Width/Custom Page Length** (カスタムページ幅/カスタムページ長) : [Page Size] ドロップダウンリストから [Custom] を選択した場合は、[Custom Page Width] と [Custom Page Length] が表示されます。スキャンする原稿の幅と長さをこの2つのフィールドに入力できます。最大幅は 11.9 インチで、最大長は 100 インチです。

**Area** — ご使用の PC に戻されるイメージ データ量を定義できます。

- **X** : スキャナーの左端からスキャン始点の横位置を設定します。
- **Y** : スキャナーの上端からスキャン始点の縦位置を設定します。
- **Width** (幅) : スキャン領域の幅を設定します。
- **Height** (高さ) : スキャン領域の高さを設定します。

領域を定義する単位を [**Pixels** (ピクセル) ]、 [**Inches** (インチ) ]、 [**Centimeters** (センチメートル) ] から選択します。

- **Snap** : プレビューエリアの領域を 1/8 インチ単位で制御する場合に、このオプションを有効にします。

#### **Page Layout**

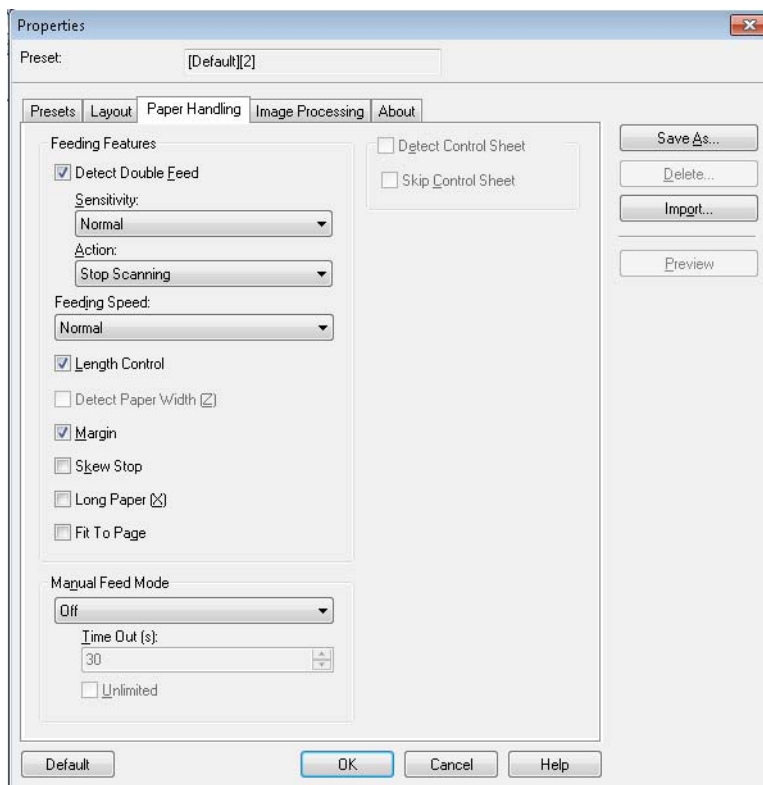
- **Portrait** : 縦長の向きにイメージを表示します。
- **Landscape** : 横長の向きにイメージを表示します。

**Feed** — スキャナーにセットする原稿の向きを選択することができます。 [**Top edge first** (用紙上端から) ]、 [**Bottom edge first** (用紙下端から) ]、 [**Left edge first** (用紙左端から) ]、 [**Right edge first** (用紙右端から) ] を選択できます。

- [**Sub Area**] (**W**) : このオプションは、 [**Paper Handling**] タブの [**Length Control** (長さのコントロール) ] が無効になっている場合に限り表示されます。

## [Paper Handling] タブ

[Paper Handling] タブには、以下のオプションがあります。



**Feeding Features** — このオプションを有効にして、重送検知機能を設定します。

**Detect Double Feed** — このチェックボックスを選択すると、重送検知機能を有効にします。この機能は、複数の原稿が同時に給紙された場合に検知します。重送を検知すると、スキャンを停止するか、エラーを通知してスキャンは続行する、のいずれかを選択できます。

この機能は、原稿が完全に重なっている場合でも重送を検知できますが、紙の厚みや、湾曲、その他の要因がある場合は正しく検知しないことがあります。

重送が発生したら、スキャナーから原稿を除去し、重送した原稿を除去します。そして原稿を給紙トレイに再度セットし、**[開始/停止]** を押してスキャンを再開します。

注：紙詰まりの解消方法については、第7章の「紙詰まりの解消」を参照してください。

- **Sensitivity (感度)**：重送検知機能が正しく機能しない場合は、以下のいずれかのレベルを選択して、感度を調整してください。
  - **High (高)** — 薄い紙などを給紙する場合に選択します。
  - **Normal (普通)** — 標準的な感度です。
  - **Low (低)** — 厚い紙などを給紙する場合に選択します。

- **Action** (動作) : 以下のオプションからいずれかを選択します。
  - **Beep** — 選択しておく、重送を検知すると警告音が鳴ります。
  - **Stop Scanning** — 重送を検知すると、スキャン処理を停止します。デフォルト設定です。

**Feeding Speed** — 薄い紙、大きく湾曲した紙、破損しやすい紙などをスキャンする場合に、スキャナーの速度を変更できます。

- **Slow** : ADF を通過する給紙速度が、標準モードの半分に低下します。低速モードの画質は、普通モードと同じです。
- **Normal** : スキャナーの通常速度で、ほとんどの原稿のスキャンに使用されます。

注 : 解像度 300 dpi では、**低速モード**に設定されていても、Normal モードの際の給紙と同じ速度となります。

**Length Control** — イメージの長さを、実際のページの長さまでに制限します。たとえば [**Length Control**] をオフにして、[*Page Size: Legal*] を選択した場合、レターサイズのスキャンを行うと、イメージサイズは 14 インチの長さになります (レターサイズの 11 インチの下に黒く 3 インチ分が追加されます)。

このオプションがオンになっていると、同様な [*Page Size: Legal*] を選択し、レターサイズのスキャンを行うと、長さが 11 インチに限定されます (実際の原稿の長さ)。

選択したページサイズよりも長い原稿の場合は、下部分が切れるので効果はありません。たとえば、[*Page Size: Letter*] を選択し、リーガルサイズの原稿を給紙すると、このオプションが有効になっているかどうかに関係なく、イメージは 11 インチに制限されます。

**Detect Paper Width (Z)** — 使用できません。

**Margin** — 選択した用紙サイズの外側に黒い枠を配置します。スキャナーが必要に応じて自動傾き修正やクロッピングを実行できる様に、このオプションは常に有効になっています。

**Skew Stop** — 有効に設定しておく、原稿が大きく傾いていることをスキャナーが検知した場合に、給紙を停止します。

**Long Paper (X)** — スキャナーは、実質的には無制限の長さの原稿をスキャンできるようになります。任意の長さの用紙をスキャンし、[Layout] タブで選択した任意のサイズでイメージを生成します。

たとえば、このオプションを有効にし、**レターサイズ** (8.5 x 11 インチ) のページを選択して、220 インチの長さの用紙を給紙すると、8.5 x 11 インチのイメージが 20 ページ生成されます。

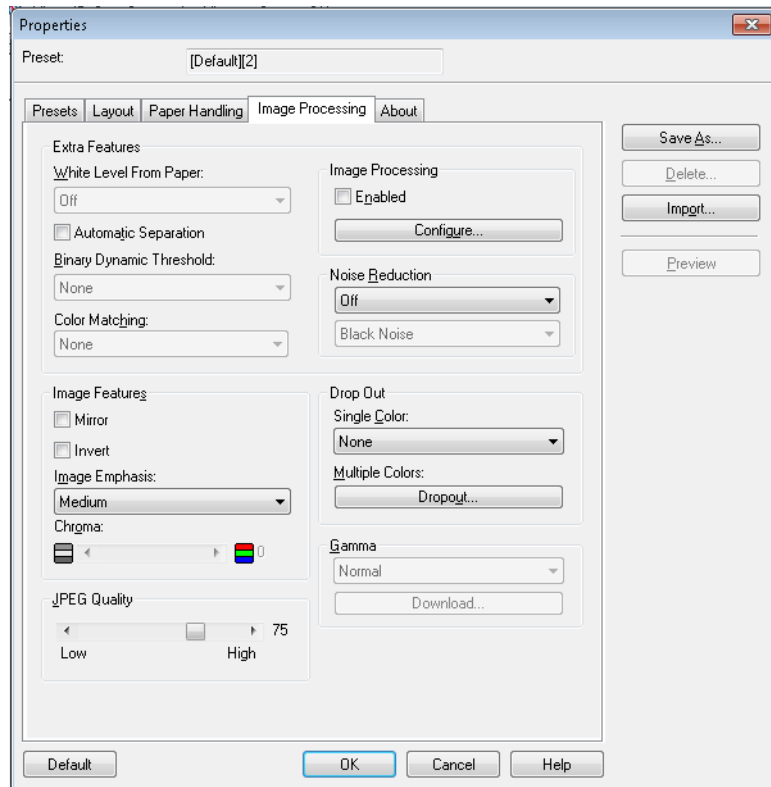
**Fit to Page** — 選択した用紙に合うように、イメージを縮小、拡大します。

**Manual Feed mode**（手差し給紙モード） — 以下のいずれかのオプションをスキャン要件に応じて選択します。

- **Off** — スキャナーに原稿をセットし、スキャン用アプリケーションからスキャン開始（または類似の名前のボタン）を実行します。
- **On** — 手差しでの原稿給紙の際は、**[オン]** を選択します。分離が難しく、重送を発生しやすい複数種類の原稿を給紙する際に選択します。このモードでは、ADF を持ち上げて、原稿の先端がフィーダ ローラに近づくまで、フィーダローラが作動しません。
- **[Start]** ボタン — 選択すると、**[開始/停止]** ボタンを押すまでスキャナーが給紙を開始しません。
- **Automatic** — 標準操作モードです。**[Automatic]** モードでは、バッチスキャン後、すぐに「out of paper（用紙なし）」表示が行われます。デフォルト設定です。
- **Timeout** — 最後の原稿が転送されてからトランスポートタイムアウトが実行されるまでの時間を設定します。時間遅延設定を **1 ~ 300 秒** の範囲で指定します。  
注：[Timeout] オプションは、**[Off]** 以外のすべての手差し給紙モードオプションで有効になっています。
- **Unlimited** — タイムアウト無制限です。**[Start]** ボタンと **[Automatic]** モード使用時に限り使用できます。
- **Detect Control Sheet** — このオプションを選択すると、スキャナーはバッチ内のコントロールシートを検知し、スキャナーの設定（カラーモードなど）を都度変更します。
- **Skip Control Sheet** — このオプションを選択すると、スキャンしたコントロールシートのイメージを生成しません。

## [Image Processing] タブ

[Image Processing] タブには、以下のオプションがあります。



### Extra Features (追加機能)

- **White Level from Paper** — 背景ノイズを減少するには、このオプションを選択します。
- **Automatic Separation** — テキストとイメージを分割し、イメージだけにディザ処理を適用する場合に、このオプションを選択します。
- **Binary Dynamic Threshold** — カラー背景の原稿を白黒でスキャンする場合に選択します。
- **Color Matching** — 標準色の再現に、異なるカラー照合方法を適用します。

### イメージ機能

- **Mirror** — 出カイメージを鏡像にします。
- **Invert** — 黒ピクセルがイメージに保存される方法を選択できます。デフォルトでは、黒ピクセルは黒として、白ピクセルは白として保存されます。黒ピクセルを白として、白ピクセルを黒として保存する場合は、このオプションを有効にします。
- **Image Emphasis** — イメージのシャープネスを変更します。スムーズは不鮮明さを表し、[低]、[中]、[高]は各シャープネスのレベルを示します。
- **Chroma** — カラー彩度を表します。この値が低い場合は減色を示し、イメージがグレースケールになります。この値が高いと、明るい色になります。

**JPEG Quality** — 圧縮値を 1 ～ 100 から選択します。低い値を指定するほど圧縮率が高くなり、イメージサイズが小さくなります。高い値を指定すると圧縮率が低くなり、イメージサイズは大きくなります。

**Image Processing** — 提供されていません。

**Noise Reduction** — 白ピクセルで完全に囲まれた単一の黒ピクセルを白へ変換するか、黒ピクセルで完全に囲まれた単一の白ピクセルを黒へ変換することにより、ランダムノイズを減らします。[**Black Noise**] または [**White Noise**] の除去を選択します。

**Drop Out** — カラードロップアウトによって、カラー原稿から 1 つ以上の色を除去して、白黒モードでスキャンすることができます。最大 6 色をドロップアウトできます。

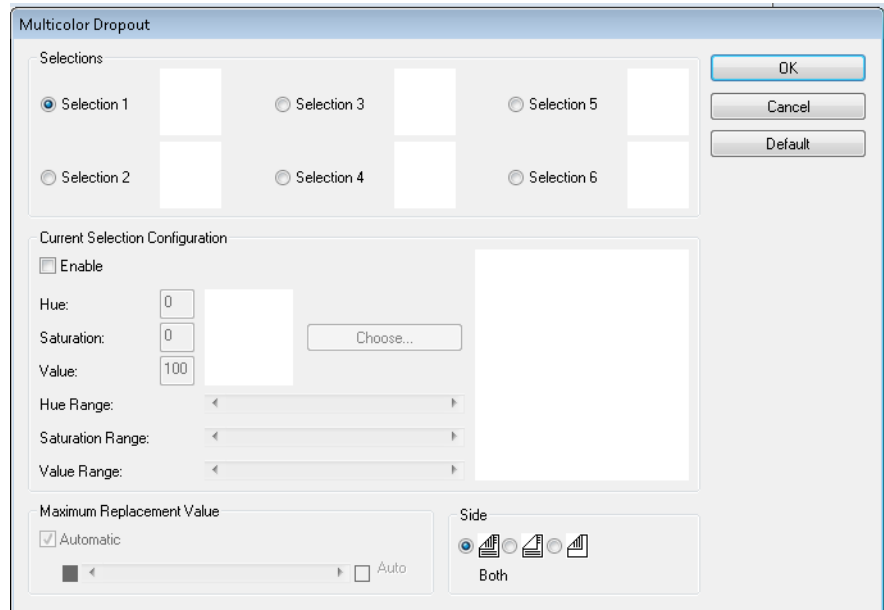
- **Single Color** : 原稿に印刷されたカラー（赤、緑、青）テキスト、または線を削除できます。Single Color ドロップアウトは、白黒のバイナリ イメージ、またはバイナリ モードで使用でき、原稿の表面と裏面に別々に設定できます。この機能は主に OCR（光学文字読み取り）で、フォームの線を消すために使用します。

注：スキャンや色の状態によっては、特定の色を削除することができない場合もあります。

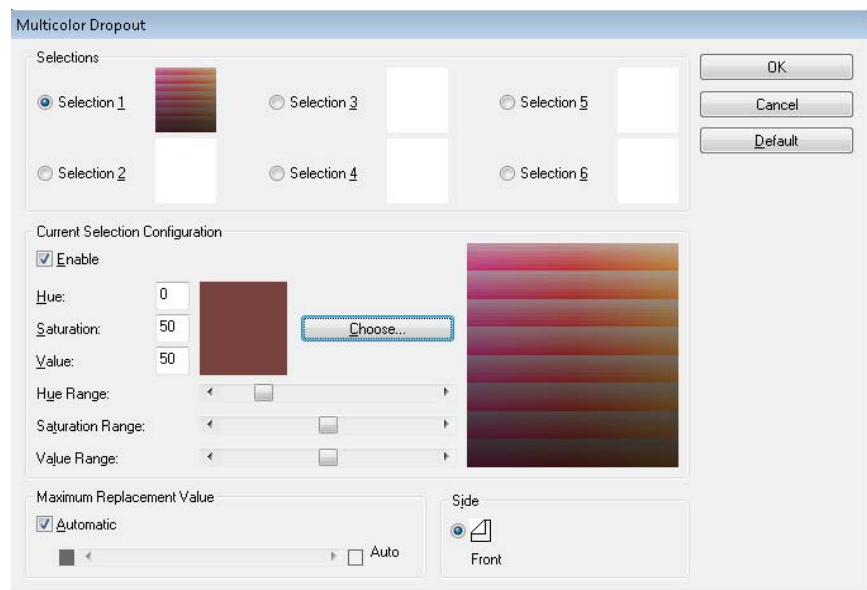
単色をドロップアウトするには、[Single Color] ドロップダウンリストから、**Red**、**Green**、**Blue** のいずれかを選択します。

- **Multiple Colors** : 最大 6 色までドロップアウトできます。複数色のドロップアウト方法 :

1. **[Dropout]** ボタンをクリックします。[Multicolor Dropout] ダイアログボックスが表示されます。



2. **[Selection 1]** をクリックします。



3. **[Hue (色相)]**、**[Saturation (彩度)]**、**[Value (値)]** のバーを調節します。**Hue** は、何色をドロップアウトするかを決定するものです。**Saturation** はドロップアウトの強さの量をコントロールし、**Value** でドロップアウトの輝度レベルを調整します。



注：

- 通常は **Hue Range**、**Saturation Range**、**Value Range** の初期値は変更する必要がありません。ただし、ドロップアウトカラーを調整する必要がある場合は、**Hue Range**、**Saturation Range**、**Value Range** の数値を手動で変更できます。
  - **Hue** によってカラーが決定します。**Saturation** で色の濃度を定義します。**Value** は色の明るさをコントロールします。
4. ドロップアウトカラーを追加するには、次の**選択用ラジオボタン**をクリックして、手順 4～7 を繰り返します。
  5. [*Maximum Replacement*] では、次のように設定ができます。
    - [**Automatic**] を選択して、バーを適宜調整します。
    - [**Automatic**] を選択して、カラーを完全にドロップアウトします。

ドロップアウト カラーを無効にする方法：

- 無効にするカラーの**選択用ラジオ ボタン**を選択し、**[Enable]** のチェックマークを外します。

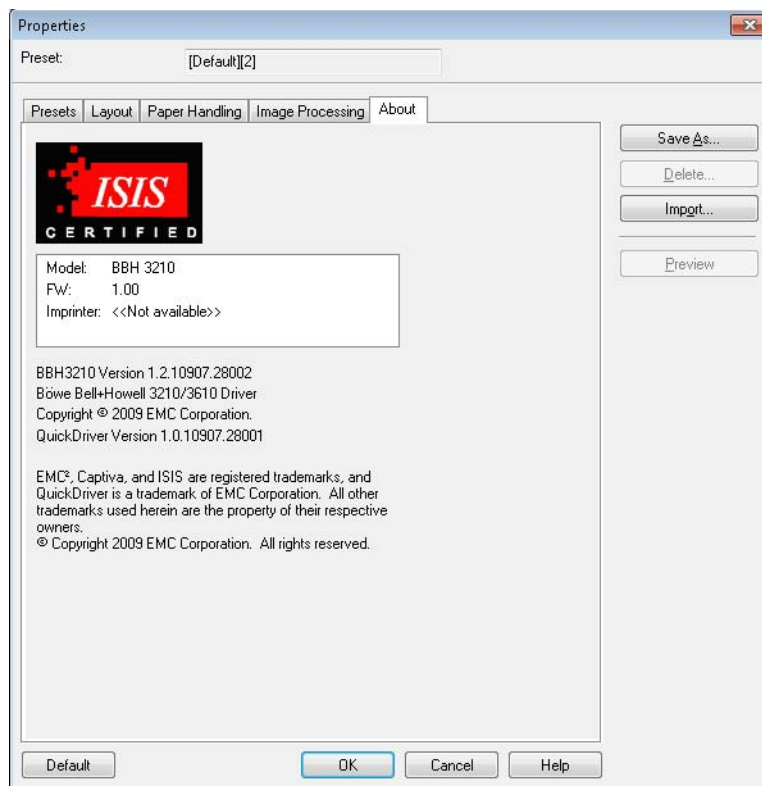
注：すべての選択は同時に有効となります。

**Gamma** — シェーディング調整用に使用します。

- **Normal**：事前に定義された曲線を使用して、すべてのカラーモードでほとんどの状態で最適な結果をもたらします。
- **For CRT**：ディスプレイ上でイメージを表示する場合に選択します。
- **User Downloaded**：独自の曲線設定をダウンロードします。
- **Linear**：曲線のない、直線の設定。

## [About] 画面

[About] 画面には、スキャナーのバージョンと著作権情報が表示されます。



## 5 ユーザユーティリティ

---

### 内容

ユーザユーティリティの起動 .....	5-1
[User Utility] ダイアログボックス .....	5-2

ユーザユーティリティは、コダック *Trüper* 3210 および 3610 スキャナーのメンテナンスやトラブルシューティング用ソフトウェアです。およびトラブルシューティング用ソフトウェア プログラムです。ユーザユーティリティは、スキャナーのソフトウェア インストールの一部として、インストールされます。

Trüper の [User Utility] アイコンがデスクトップ上に表示されていない場合は、第 2 章の「ソフトウェアのインストール」のセクションを参照してください。

### ユーザユーティリティの起動

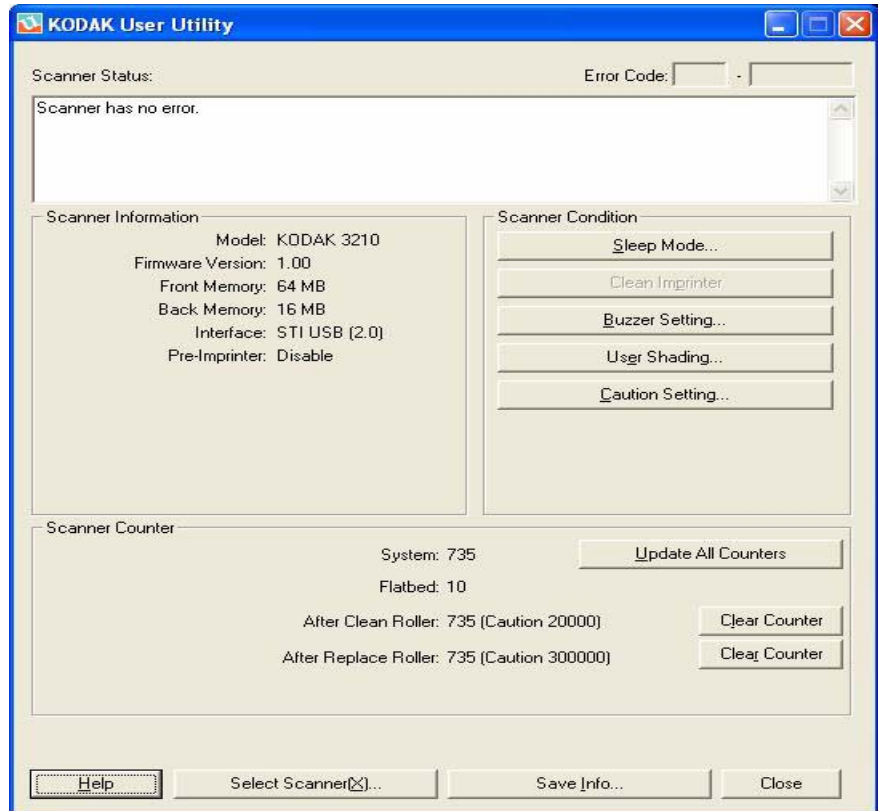


- [ユーザユーティリティ] アイコンをクリックするか、[スタート]>[プログラム]>[Kodak]>[Scanner Tools] をクリックします。

注 : ユーザユーティリティを起動すると、[スキャナー選択] ダイアログボックスが表示される場合があります。ダイアログボックスが表示された場合は、ドロップダウンリストから該当するスキャナーを選択してください。

## [User Utility] ダイアログボックス

このダイアログボックスには、Scanner Status（スキャナーの状態）、Scanner Information（スキャナーの情報）、Scanner Counter（スキャナーカウンタ）、User Utility functions（ユーザユーティリティの機能）、Settings options（設定オプション）が表示されます。

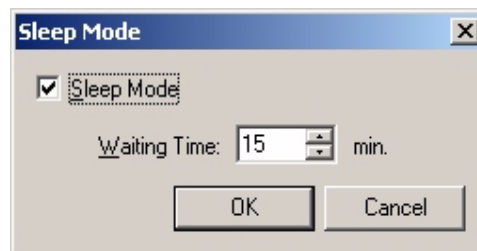


**Scanner Status と Error Code** — 接続されているスキャナーの状態とエラーコードが表示されます。メッセージとエラーコードについては、第7章の「ユーザユーティリティのエラーコード」を参照してください。

**Scanner Information** — 接続されているスキャナーの情報を表示します（モード、ファームウェアバージョン、メモリ容量など）。

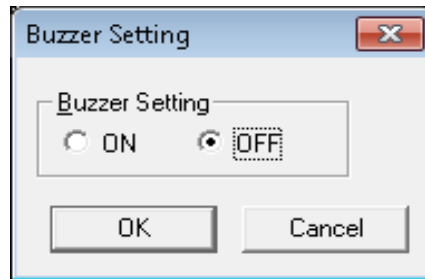
**スキャナーの設定情報** — スキャナーの設定情報を表示します。

- **Sleep Mode** — Sleep Mode は 15 分に設定されています。電気と運用コストを削減できます。最後にスキャナーを操作してから 15 分後に [Sleep Mode] が有効になります。この値を変更する場合は、[Sleep Mode] をクリックして、値を選択します。



待機時間は 1 ～ 60 分の間で 1 分単位で設定できます。

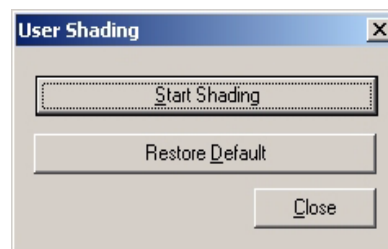
- **Clean Imprinter** — インプリンタをインストールされている場合は、このオプションが使用できます。インプリンタのインク カートリッジが詰まっている場合は、インプリンタのドアが閉まっていることを確認し、**[Clean Imprinter]** ボタンをクリックして、カートリッジのクリーニングを行います。自動クリーニングによって印字品質を向上します。
- **Buzzer Setting** — 指定した用紙サイズを検出したらブザーで通知するようにスキャナーを設定しておく場合は、**[ON]** をクリックします。



- **User Shading** — 画質を向上するために調整します。シェーディングの調整は、スキャン画像の密度にムラが出てきたとき、画像に垂直の線が出てきたとき、またスキャン画像の一部が、期待される結果と著しく異なる場合、スキャナーのクリーニング後も画質が改善しない場合などに実施します。

シェーディングの調整前に、ドライブ ローラ、バックグラウンドバー、ADF ガラス部分をしっかりクリーニングします。スキャナーに同梱された、状態の良いシェーディング用紙を使用してください。

1. **[User Utility]** の **[User Shading]** をクリックします。



2. **[Start Shading]** をクリックします。[User Shading] ユーティリティに従って、必要な手順を実行します。
3. スキャナー内部のクリーニングを行います。第 6 章の「スキャナー内部のクリーニング」を参照してください。**[OK]** をクリックします。
4. 上下のバックグラウンドバーを白色に切り替えます。第 3 章の「バックグラウンドバーの変更」を参照してください。**[OK]** をクリックします。
5. シェーディング用紙を給紙トレイに横方向にセットし、**[OK]** をクリックします。スキャナーはシェーディング用紙を読み取り、シェーディングの補正によってバックグラウンドバーが白のシェーディング用に設定されます。**[Now Adjusting]** のメッセージが画面から消えるまで待ちます。

6. 上下のバックグラウンドバーを黒に切り替えます。[OK] をクリックします。

注：シェーディング用紙は、黒のバックグラウンドバーでは使用できません。

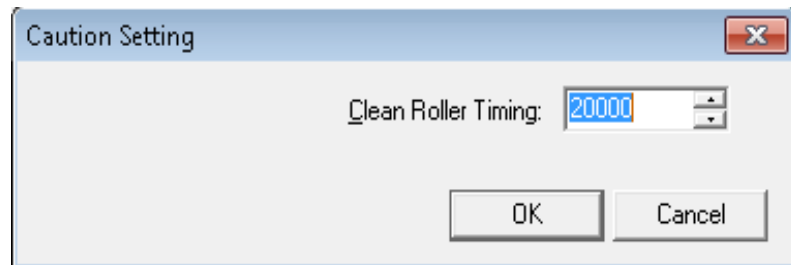
黒のバックグラウンドバーのシェーディング補正データが作成されます。[Now Adjusting] のメッセージが画面から消えるまで待ちます。

7. シェーディング補正が完了したら [OK] をクリックします。

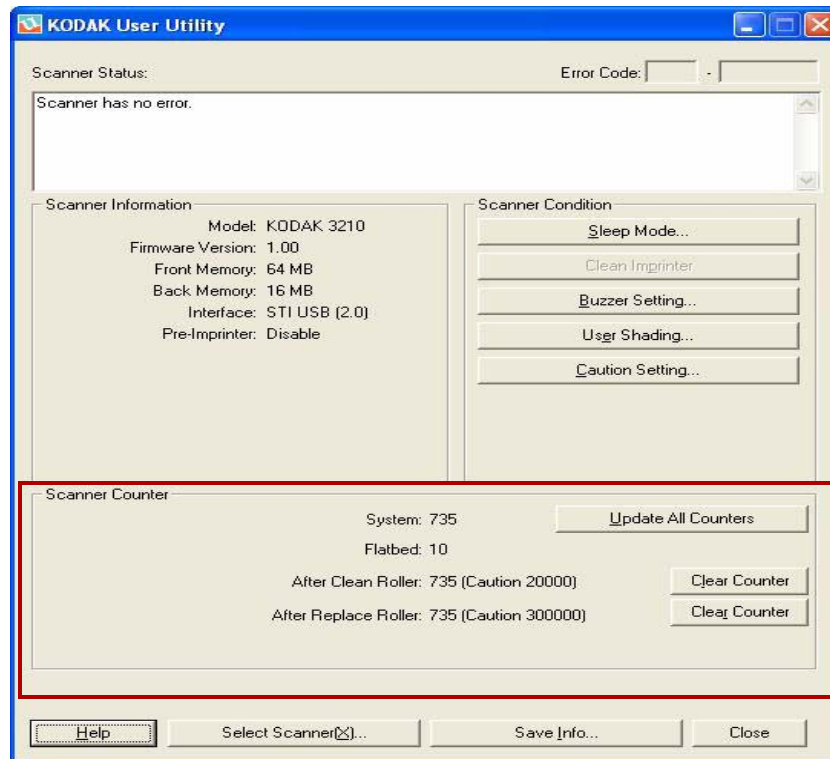
注：シェーディング補正後や、ADF ガラス領域をクリーニングしても線が消えない場合は、シェーディング補正が正しく実行できていません。再度部品のクリーニングを行い、シェーディング補正を実行します。

- シェーディングを初期設定に戻す方法：シェーディング補正データを初期設定に戻すには、[User Shading] ダイアログボックスの [Restore Default] をクリックします。画質が低下している場合や、シェーディング補正を行っても結果が改善されなかった場合に、初期設定に戻します。

**Caution Setting** — このオプションをクリックして、ローラのクリーニング時期を知らせるために、前回のローラ交換からカウントするページ数を設定します。



**Scanner Counter** — Scanner Counter を使用して、スキャンした原稿枚数を記録します。カウンタは、ローラのクリーニングと部品交換の通知にも利用しています。



- **System** — 前回カウンタを更新してから、ADF モードでスキャンしたページ数を表示します。
- **Flatbed** — 前回カウンタを更新してから、フラットベッドモードでスキャンしたページ数を表示します。
- **After Clean Roller** — 前回ローラをクリーニングしてからスキャンしたページ数を表示します。[After Clean Roller] の数字が [Warning] の数字よりも多い場合は、ローラのクリーニングが必要です。([Warning] の数字は、ローラのクリーニング後、次回クリーニングまでにスキャン可能なページ数を示します。)
- **After Replace Roller** — 前回ローラを交換してからスキャンしたページ数を表示します。[After Replace Roller] の数字が [Warning] の数字よりも多い場合は、ローラを交換する必要があります。([Warning] の数字は、次回ローラ交換までに、スキャン可能なページ数を示します。)
- **Update All Counters** — カウンタを更新して、最新の数字を表示します。原稿のスキャン操作では、カウンタ表示は自動的に更新されません。
- **カウンタのクリア用ボタン** — [After Clean Roller] 表示と [After Replace Roller] 表示をクリアする、2つのカウンタ クリア用ボタンがあります。
  - ローラのクリーニング後、[After Clean Roller] に対して [Clear Counter] をクリックしてゼロに戻します。
  - ローラの交換後、[After Replace Roller] に対して [Clear Counter] をクリックしてゼロに戻します。

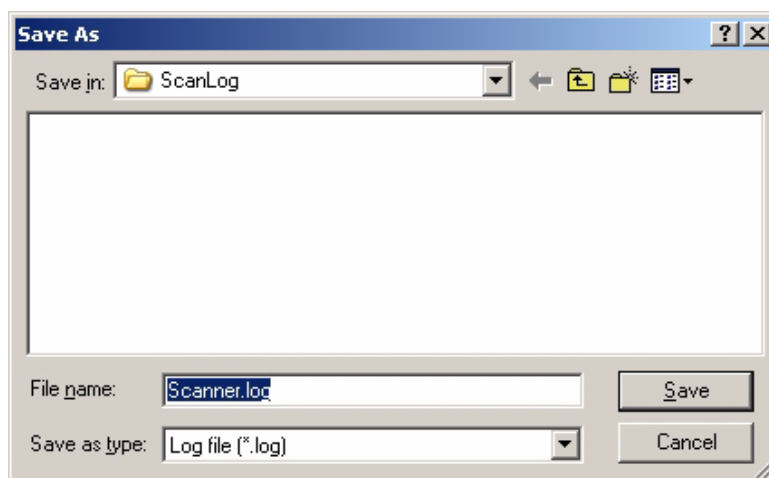
**Help** — コダック Trüper 3210 および 3610 スキャナーのユーザガイドの PDF ファイルを開きます。

**Select Scanner (X)** — [Select Scanner] ダイアログボックスを開きます。コンピュータに複数のスキャナーを接続している場合は、[Select Scanner] ダイアログボックスを使用して別のスキャナーを選択できます。ユーザユーティリティ機能と設定が選択したスキャナーに適用されます。別のスキャナーの選択方法：

1. **[Select Scanner (X)]** をクリックします。
2. ドロップダウンリストをクリックして、別のスキャナーを選択し、**[OK]** をクリックします。

**Save Info** — 現在のスキャナーとコンピュータのシステムをログファイルに保存します。

1. **[Save Info]** をクリックします。
2. **[Save As]** のドロップダウンメニューから、ログファイルを保存する場所を検索します。
3. **[File name]** ボックスに、ログファイルのファイル名を入力します(初期設定のファイル名は Scanner.log です)。
4. **[Save]** をクリックします。



**Close** — ユーザユーティリティを閉じます。

**Version Information** — 表示ウィンドウの一番上にあるタイトルバーを右クリックして、**[Version Information]** をクリックし、バージョン情報を表示します。



## 6 メンテナンス

---

### 内容

クリーニング手順 .....	6-1
ローラのクリーニング .....	6-2
スキャナー外装のクリーニング .....	6-2
スキャナー内部のクリーニング .....	6-2
ADF 内のローラのクリーニング .....	6-3
排紙口のローラのクリーニング .....	6-5
バックグラウンドとイメージング ガイドのクリーニング .....	6-6
センサーのクリーニング .....	6-6
フラットベッドのクリーニング .....	6-9
消耗品の交換 .....	6-10
アクセサリと消耗品 .....	6-13

### クリーニング手順

以下のクリーニング ガイドラインに従って作業する事でスキャナーを最適な状態に保ちます。

注：スキャナーのクリーニング時には、推奨されているクリーニング用品を使用してください。

- 紙詰まり、汚れが付く、重送が頻繁に発生する場合は、記載された方法で、ローラ、センサー、重送検知部のクリーニングを行ってください。クリーニング後にも紙詰まり、汚れの付着、重送などが頻繁に発生する場合は、ローラを交換する必要があります。
- スキャン品質を維持するためには、週 1 回以上、またはスキャン枚数が 20,000 枚に達した場合のいずれか早い時期に、スキャナーのクリーニングを実施してください。スキャン枚数を確認するには、*TruPer* ユーザユーティリティを使用します。
- 原稿に汚れがないことを確認してください。原稿が汚れている場合は、スキャナー部品も汚れます。
- フラットベッドでのスキャン時には、黒点または白のパッチがスキャン結果に表示される場合は、原稿カバーを開いて、静電クリーニングクロスを使用してフラットベッドガラスとフラットベッドシートをクリーニングします。黒や白の線がスキャン後のイメージに表示される場合は、イメージング ガイドとバックグラウンドバーをクリーニングします。
- すべてのローラを同時にクリーニングすることをお勧めします。

## ローラクリーニングパッド

ローラクリーニングパッドを使用する前に、以下を確認してください。

- ローラクリーニングパッドについての詳細は、「安全性データシート (MSDS)」を参照してください。コダックのウェブサイト参照してください ([www.kodak.com/go/msds](http://www.kodak.com/go/msds))。
- ローラクリーニングパッドは別途購入できます。注文についての詳細は、この章の「アクセサリと消耗品」を参照してください。

注：開封後はすぐにローラクリーニングパッドを使用してください。袋を長時間開封した状態にすると、アルコールクリーニング液が蒸発し、クリーニングパッドが使いなくなります。

## スキャナー外装のクリーニング

スキャナー外装を 1 カ月に 1 回以上クリーニングしてください。

1. スキャナーの電源を落とします。
2. 排紙トレイ、フィーダ、フィーダトレイ、ADF カバー、その他の表面をやわらかい布できれいにふき取ります。
3. ADF の給紙トレイ、排紙トレイを 1 カ月に少なくとも 1 回、またはごみ、埃、汚れが蓄積している場合は頻繁にクリーニングしてください。
4. ブラシを使用して排気ファンと、スキャナーの背面の左右にある 2 つの通気口からごみや埃を除去します。

## スキャナー内部のクリーニング

用紙詰まり、汚れの付着、重送が頻繁に発生する場合は、このセクションに記載された方法で、ローラ、センサー、重送検知部のクリーニングを実施してください。スキャン品質を維持するため、スキャナー部品を頻繁にクリーニングしてください。週 1 回以上、またはスキャン枚数が 20,000 枚に達した場合のいずれか早い時期に、スキャナー内部のクリーニングを実施してください。

注：スキャン枚数を確認するには、 Trüper ユーザユーティリティを使用します。詳細は、第 5 章、「Trüper ユーザユーティリティ」を参照してください。

以下は、スキャナー内部クリーニングのガイドラインです。

- スキャン原稿はできるだけ汚れを無くし、スキャナーにごみや埃が頻繁に付着しないようにします。
- ローラをクリーニングする際は、ローラが回転しないように持ち、ローラを水平にしてふき取ります。ローラ全体のクリーニングが完了するまで、ローラを回しながらふき取ります。
- スキャン後のイメージに黒や白の線が現れる場合は、この章の後述の「バックグラウンドバーとイメージングガイドのクリーニング」の説明に従って、イメージングガイドとバックグラウンドバーのクリーニングを実施します。
- クリーニング後も用紙詰まり、汚れの付着、重送が頻繁に発生する場合は、この章の後述の「消耗品の交換」の手順に従って、ローラを交換します。

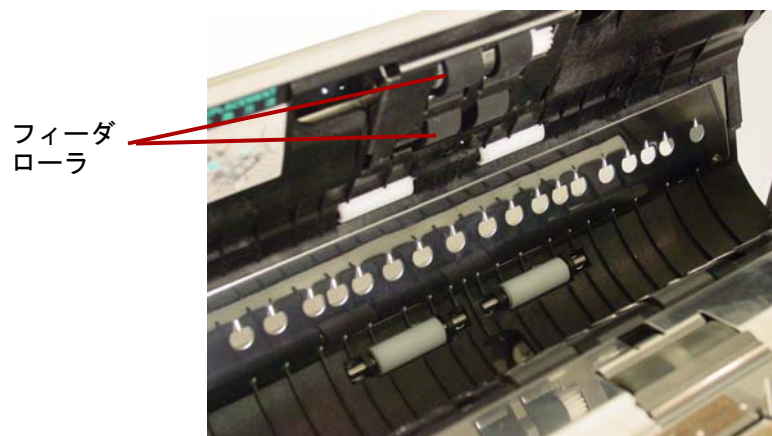
## ADF のローラのクリーニング

### フィーダーローラとセパレーションローラのクリーニング

1. スキャナーの電源を落とします。
2. ADF ドア リリースボタンを押して ADF を開きます。



3. ローラクリーニングパッドを使用して給紙ローラとセパレーションローラの汚れを取り除きます。



4. 右側のインデントを引き上げてセパレーションローラのカバーを開きます。



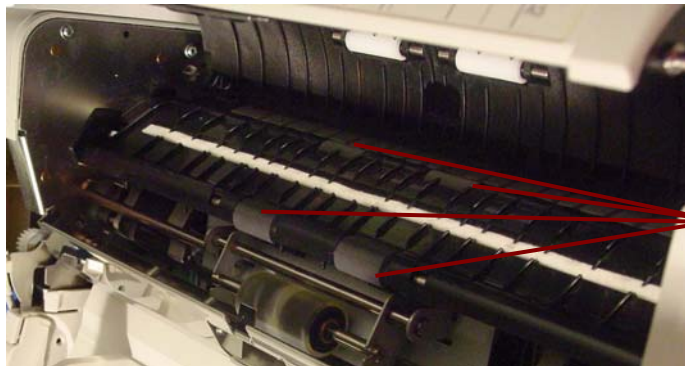
5. ローラクリーニングパッドを使用して、セパレーションローラの汚れを取り除きます。



6. セパレーションローラカバーを閉じます。

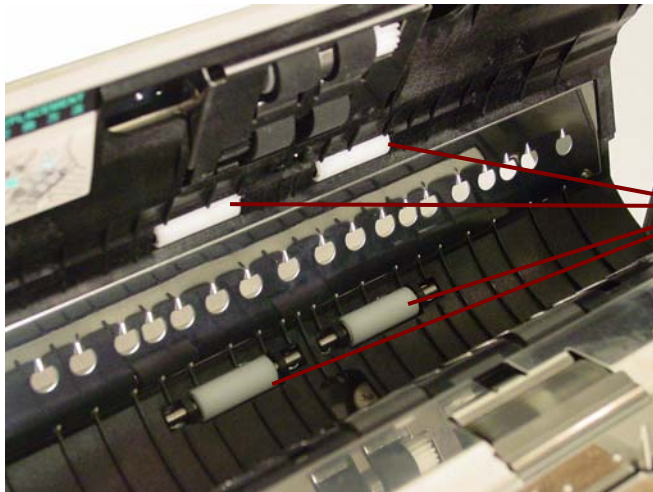
**駆動ローラと ADF 内のフリーローラのクリーニング**

7. ローラクリーニングパッドを使用して 4 つの駆動ローラの汚れを取り除きます。



駆動ローラ

8. ローラクリーニングパッドを使用して、4 つのフリーローラ表面の汚れを取り除きます。



フリー  
ローラ

9. ADF ドアを閉じます。

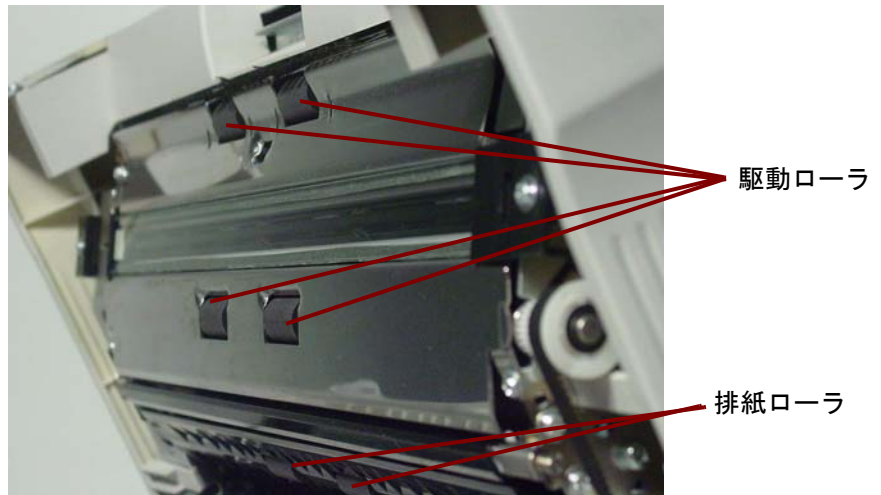
## 排紙口のローラのクリーニング

### 駆動ローラ、フリーローラ、排紙ドア内の排紙ローラのクリーニング

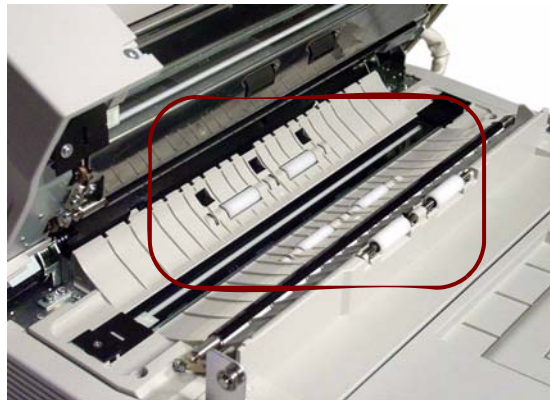
1. 排紙口のドアのリリースレバーを引き排紙ドアを開きます。



2. ローラクリーニングパッドを使用して、4つの駆動ローラと2つの排紙ローラ表面の汚れを取り除きます。



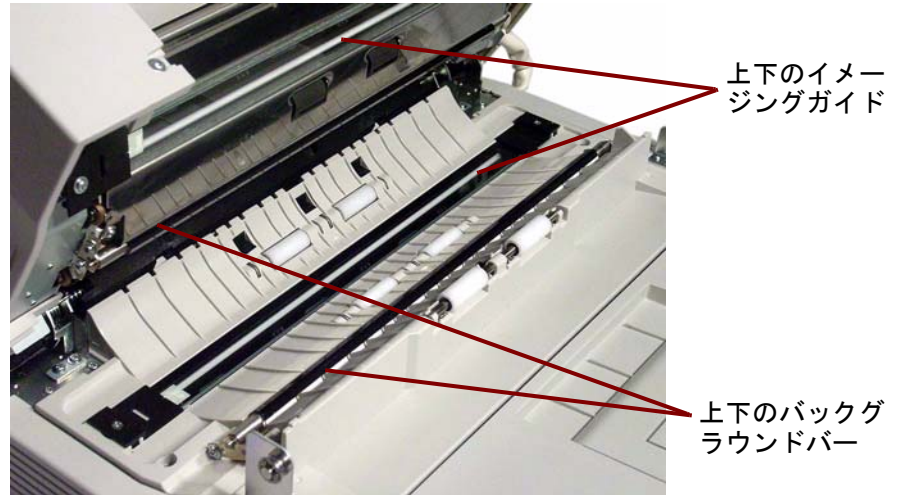
3. ローラクリーニングパッドを使用して、6つのフリーローラ表面の汚れを取り除きます。



4. 排紙ドアを静かに閉めます。
5. 完了したら、スキャナーの電源を入れます。
6. ローラのクリーニング後、ユーザユーティリティを開き、**[Clear Counter]** をクリックしてローラのカウンタをリセットします。詳細については、第5章、「Trüper ユーザユーティリティ」の「スキャナーカウンタ」のセクションを参照してください。

## バックグラウンドバーとイメージングガイドのクリーニング

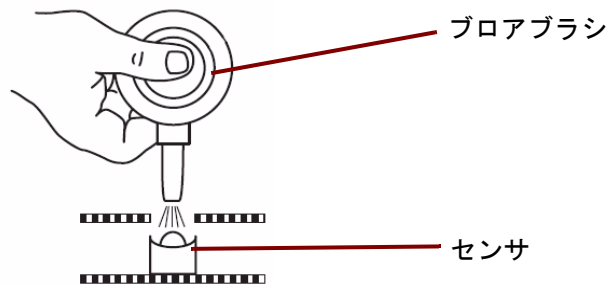
1. スキャナーの電源を落とします。
2. 排紙口のドアのリリースレバーを引き排紙ドアを開きます。
3. スキャナーのベースアセンブリ内にある、上下のイメージングガイドとバックグラウンドバーを静電クリーニングクロスでクリーニングします。



4. 排紙ドアを静かに閉めます。

## センサーのクリーニング

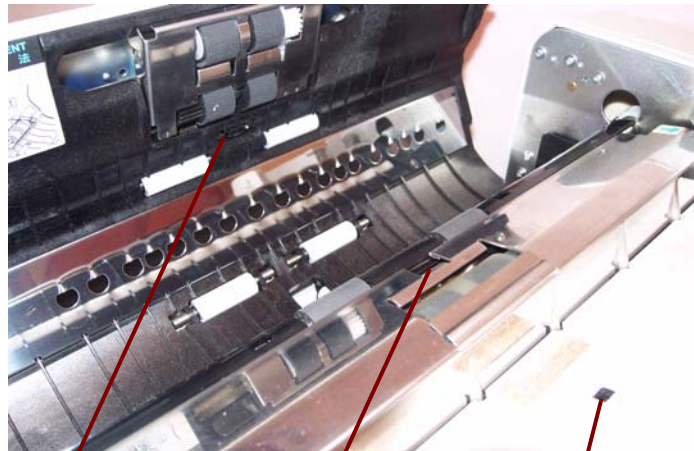
ブロアブラシを使用して、すべてのセンサをクリーニングします。



### ペーパーセンサ、待機センサ、重送検知センサのクリーニング

1. ADF ドアリリースボタンを押して ADF ドアを開きます。

2. ブロアブラシを使用して、ペーパーセンサと待機センサ表面の汚れを吹き落とします。また、待機センサで使用している金属製のリフレクタシートの表面の汚れも吹き落とします。

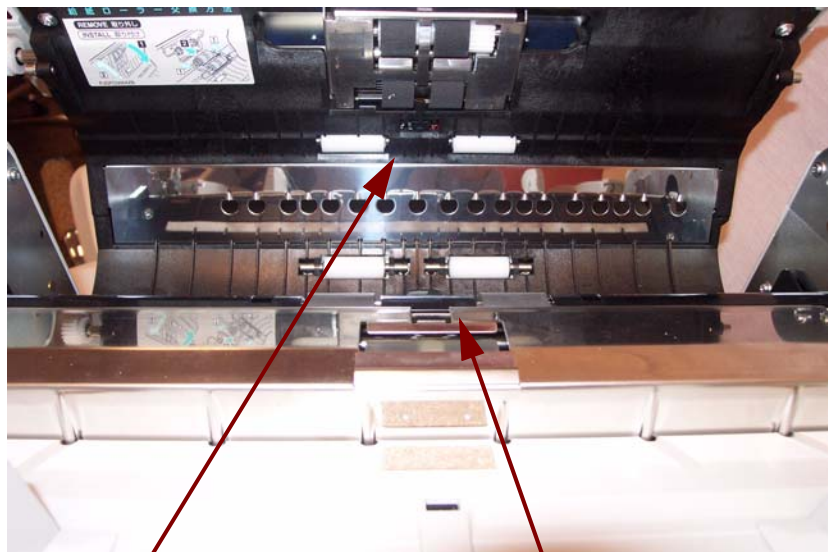


待機センサ

待機センサのリフレクタシート

ペーパーセンサ

3. 重送検知センサの汚れを吹き落とします。



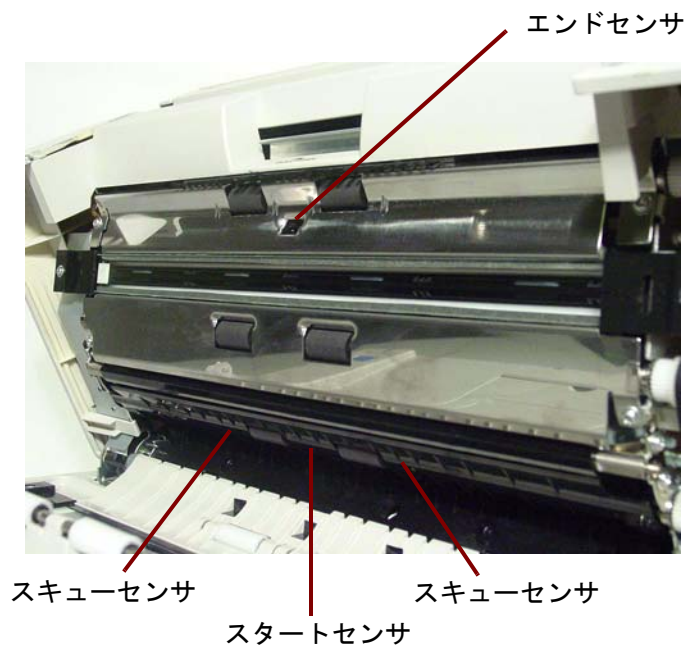
重送検知センサ

重送検知センサ

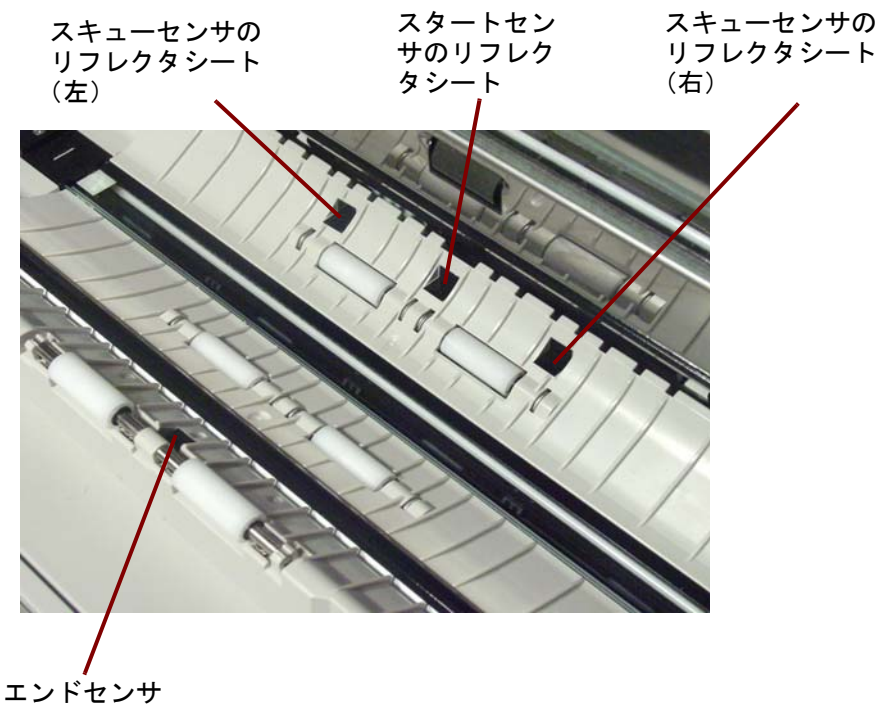
4. ADF ドアを静かに閉じます。

## スタート、スキュー、エンドセンサのクリーニング

1. 排紙口のドアの開放レバーを引き排紙ドアを開きます。
2. スタートセンサ、左右のスキューセンサ、エンドセンサの表面の汚れを吹き落とします。



3. ブロアブラシを使用してスタートセンサ、スキューセンサ（左）、スキューセンサ（右）、エンドセンサ表面の汚れを吹き落とします。

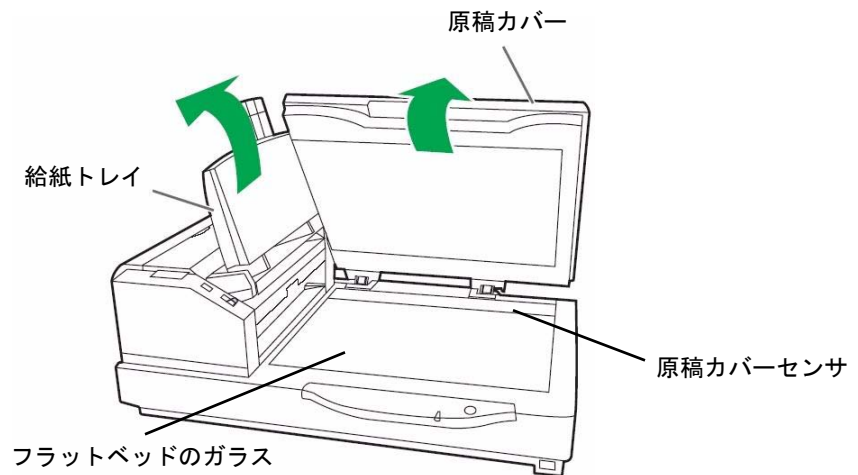


4. 排紙ドアを静かに閉めます。



## フラットベッドのクリーニング (3210 スキャナー)

1. トレイが固定されるまで、給紙トレイを上げます。
2. 原稿カバーを開きます。



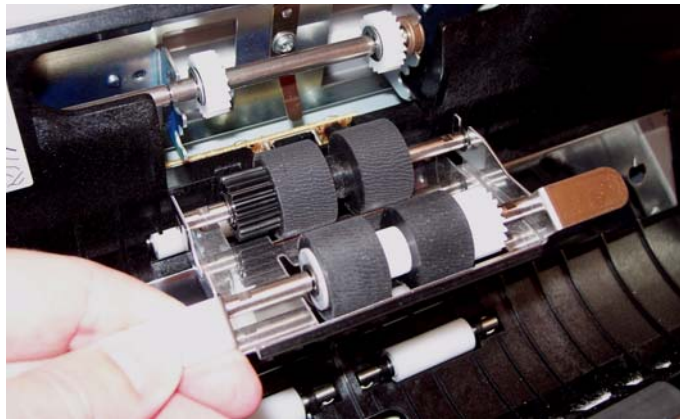
3. 静電クリーニングクロスでフラットベッドのガラスをクリーニングします。必要に応じて、フラットベッドシートの表面をクリーニングします。
4. ブロアブラシを使用して、原稿カバーセンサに蓄積している汚れを吹き落とします。
5. フラットベッドカバーを静かに閉じて、給紙トレイを下げます。

## 消耗品の交換

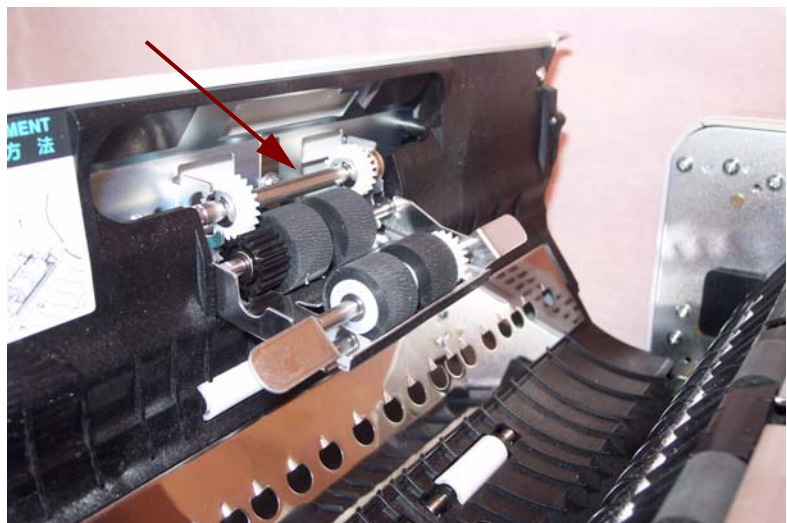
給紙ローラモジュールとセパレーションローラモジュールは、30万枚スキャン毎に交換してください。クリーニング後も給紙の問題（紙詰まり、スリップ、重送、汚れの付着など）が解消されない場合は、ローラモジュール交換の頻度を高くしてください。

### フィードローラの交換

1. スキャナーの電源を落とします。
2. ADF ドアリリースボタンを押して ADF ドアを開きます。
3. ローラ交換キットを開封します。ローラ交換キットの詳細については、この章の後述の「アクセサリと消耗品」を参照してください。
4. ADF ドアからフィードローラを取り除きます。
  - ローラモジュールの両側に指をかけ、ローラモジュールを押し下げます。

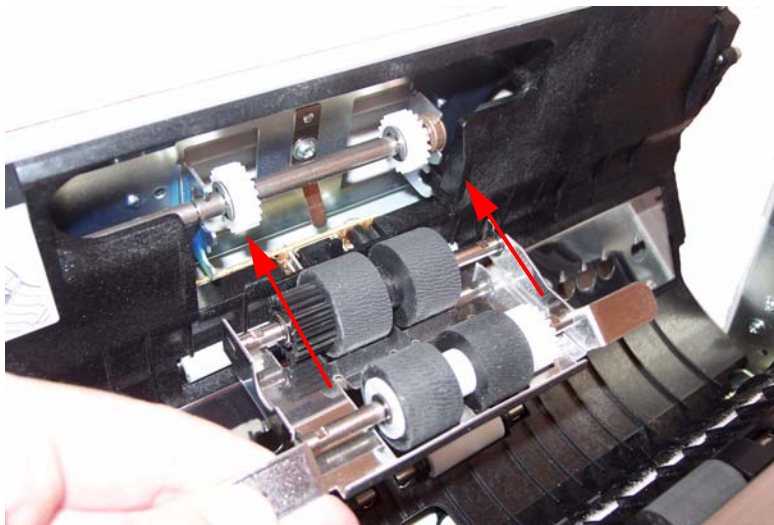


- ローラモジュールのシャフトを ADF ドア アセンブリの金具から取り外します。注意してローラモジュールのギアを ADF ドアアセンブリのギアから取り外します。

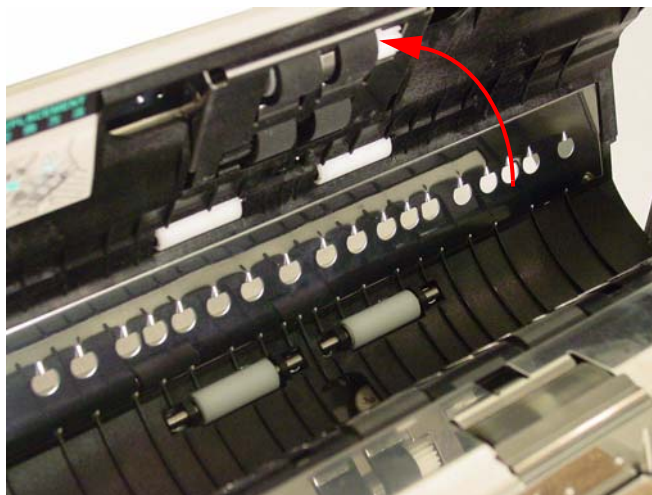


5. ADF ドア アセンブリの金具に、ローラモジュールのシャフトを挿入して、新しいフィードローラモジュールを取り付けます。

注意してローラモジュールのギアを ADF ドア アセンブリにあるギアにはめます。

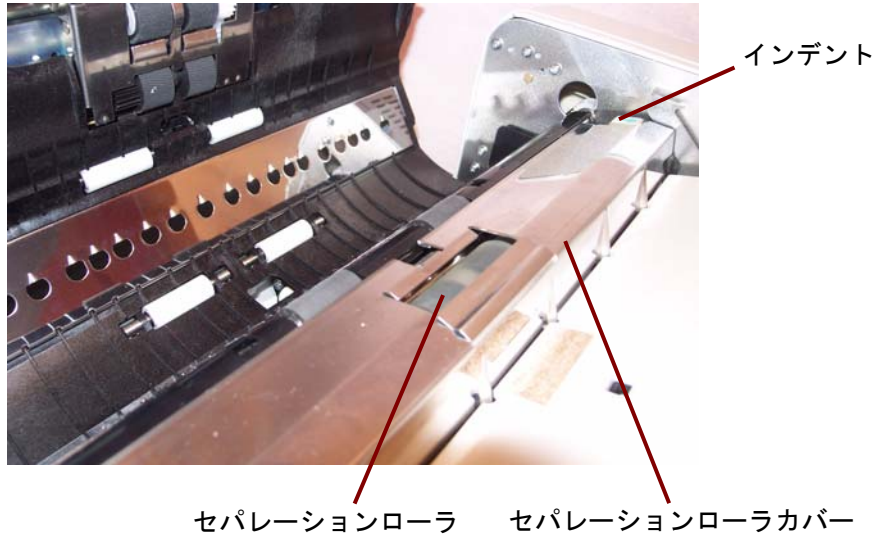


6. 固定されるまで、ローラモジュールを押し上げます。

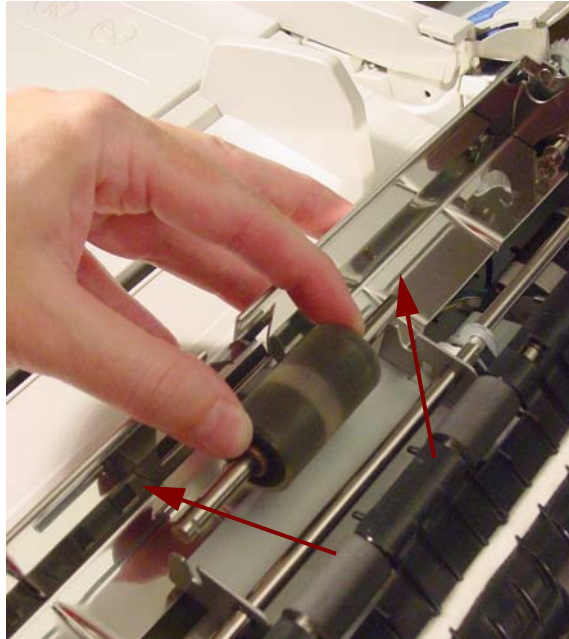


## セパレーションローラモジュールの交換

7. セパレーションローラカバーのインデント部分をつかみ、カバーを取り外して、セパレーションローラを露出させます。

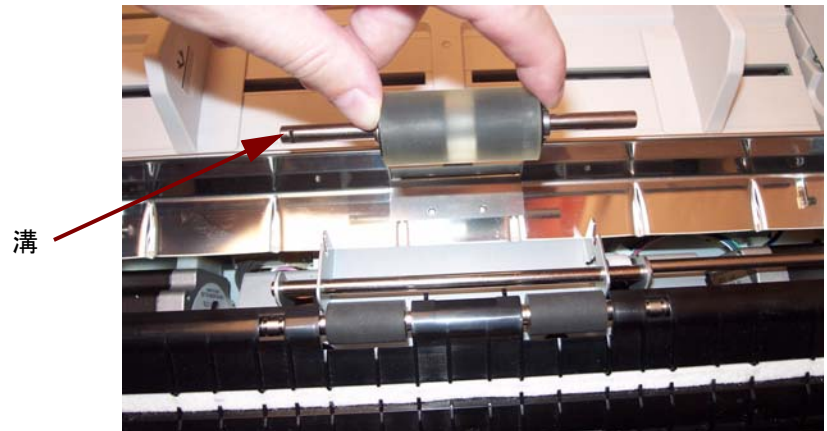



8. ローラシャフトの両端を持ち、ローラを上に取り上げ、セパレーションローラを金具から取り外します。



9. ローラ交換キットを開封し、新しいセパレーションローラを取り出します。

10. ローラを下げて金具に挿入し、新しいセパレーションローラを取り付けます。ローラシャフトの片側の溝を、溝に合った金具と慎重に組み合わせます。溝と金具を組み合わせたら、ローラシャフトが金具にスライドして入ります。



11. セパレーションローラカバーを閉じます。  
 12. フィードローラとセパレーションローラモジュールを交換したら、  
 アイコンをクリックして、Trüper ユーザーユーティリティを開きます。[ユーザーユーティリティ] オプションを選択して、[Clear Counter] をクリックし、ローラカウンタをリセットします。詳細については、第5章、「Trüper ユーザーユーティリティ」の「スキャナーカウンタ」のセクションを参照してください。  
 13. ADF ドアを静かに閉めて、スキャナーの電源を入れます。

## アクセサリと消耗品

消耗品を注文される場合は、スキャナーの販売代理店にご連絡ください。

説明	CAT No.
静電クリーニングクロス (144 枚入り)	896 5519
ローラクリーニングパッド (24 枚入り)	853 5981
ローラ交換キット	846 0321
シェーディングシート	153 5376
プロアブラシ	179 7158
交換用パッケージ	145 2812
アクセサリ	CAT No.
メモリアップグレードキット	124 4847
プリンタキット	896 1955
インクカートリッジ	155 8667
長尺原稿用ペーパーウエイト キット	109 2436

注：品目とカタログ番号は、変更される場合があります。最新のアクセサリと消耗品のリストについては、以下を参照してください。  
[www.kodak.com/go/scannersupplies](http://www.kodak.com/go/scannersupplies)

## 7 トラブルシューティング

---

目次	紙詰まりの取り除き方.....	7-1
	ADF から原稿を取り除く.....	7-1
	排紙口から原稿を取り除く.....	7-2
	問題の解決.....	7-2
	ユーザユーティリティ コード.....	7-4
	スキャナーの LED 状態.....	7-5
	サービスセンターへの問い合わせ.....	7-5

### 紙詰まりの取り除き方

次の手順に従って紙詰まりを解消してください。

#### ADF 領域から用紙を取り除く

紙詰まりを最小限に抑えるには、第 3 章の「原稿の準備」を参照して、正しくフィードします。

**重要:** ADF から紙詰まりした原稿を取り除く場合は ADF ドアを必ず開いてください。ドアが閉まった状態で原稿を取り除くと、原稿が破損する場合があります。

1. ADF ドア リリースボタンを押して ADF ドアを開きます。
2. フィーダから、紙詰まりした原稿を取り除きます。



注：ADF ドアを開いても、紙詰まりした原稿の端しか見えない場合は、ADF ドアを開いたまま、排紙ドアも開きます。フィーダまたは排紙口のいずれかから、紙詰まりした原稿を慎重に取り除きます。排紙パスから用紙を取り除くには、次のセクション、「排紙口から原稿を取り除く」を参照してください。

3. ADF ドアを静かに閉めて、スキャンを再開します。

## 排紙口から原稿を取り除く

1. 給紙トレイを上げ、排紙ドアリリースレバーを引いて、排紙ドアを開きます。



2. 詰まった原稿を取り出します。
3. 排紙ドアを閉じて、給紙トレイを元の位置に戻します。

## 問題解決

スキャナーが正しく機能しない場合は、以下のチャートを参考して、サービス&サポートに問い合わせる前にご自分で問題を解決できるか確認してください。


この章の後述の「ユーザユーティリティエラーコード」のステータスメッセージとエラーコードを確認後も問題が解消されない場合は、問題を再度確認して、以下の解決方法を検討します。スキャナーがまだ機能しない場合は、スキャナーの電源を落として電源コードを抜き、サービス&サポートにご連絡ください。

問題点	解決方法
電源ボタンを入れても LED が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源コードがコンセントとスキャナーの電源入力側に正しく挿入されていることを確認します。</li><li>• パワーサプライの問題の可能性があります。スキャナーをコンセントから抜いて、修理を依頼してください。</li></ul>
PC がスキャナーを認識しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• スキャナーが PC に正しく接続されていることを確認してください。第 2 章の「接続」を参照してください。</li><li>• スキャナーが Windows の「新しいハードウェアのウィザード」で正しく設定されていません。PC からスキャナーの接続を外し、スキャナーを認識させるために、スキャナーを再接続してください。第 2 章の「Windows スキャナードライバのインストール」を参照してください。</li><li>• コンピュータに USB インターフェイスが正しくインストールされていることを確認します。Windows デバイスマネージャを使用して USB のプロパティを確認します。</li><li>• スキャナーが USB ハブに接続されていないことを確認します。</li><li>• USB ケーブルに高速ログがないことを確認します。スキャナーに同梱されたケーブルを使用してください。</li></ul>
USB 接続のスキャン速度が遅すぎる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• スキャナーが USB 2.0 インターフェイスで接続されていることを確認します。</li></ul>
ADF ドア リリースボタンを押しても ADF ドアが開きません。	ADF ドアが正しく閉じられていません。ADF ドア リリースボタンを押して ADF ドアを上げ、ADF ドアがしっかりと固定されるまで閉じます。ADF ドアは静かに閉じてください。

問題点	解決方法
(ADF) 原稿が給紙トレイからスキャナー内に取り込まれたが、スキャンが開始されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿が正しくセットされていません。第3章の「原稿のスキャン」を参照してください。</li> <li>原稿の端が丸まっているため、センサが原稿を検出できません。原稿の端の曲がり直した後、再度セットしてください。第3章の「原稿の準備」を参照してください。</li> </ul>
(ADF) 重送やスキューが頻繁に発生したり、スキャン中にフィードが停止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローラが汚れているか、寿命に達しました。ローラをクリーニングして、磨耗していないことを確認してください。クリーニングと交換手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。</li> <li>原稿が曲がっているか、または折れています。原稿を整えて枚数を減らしてから再度セットしてください。</li> </ul>
(ADF) スキャンしたイメージが傾いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメントガイドを原稿に合わせて調整していることを確認してください。</li> <li>原稿が給紙トレイにまっすぐに挿入されていることを確認してください。</li> <li>折れや曲がりによって原稿の左右の高さが同じになっていません。折れや曲がり直し、給紙トレイに入れる枚数を減らしてから原稿を再度トレイにセットしてください。</li> </ul> <p><b>3210 スキャナーの場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊な原稿をスキャンする場合はフラットベッドを使用して原稿をスキャンします。</li> <li>原稿の長さが2.75インチ(70mm)未満の場合、フラットベッドを使用して原稿をスキャンします。</li> </ul>
(ADF) スキャンした原稿が白紙である。	原稿が給紙トレイに正しくセットされていることを確認してください。給紙トレイに原稿を上向きにセットしてください。
スキャンイメージにスジが出る。	イメージングガイド(またはフラットベッドのガラス)とバックグラウンドバーをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。
スキャンの濃淡にムラがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージングガイド(またはフラットベッドのガラス)とバックグラウンドバーをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。</li> <li>シェーディングの調整を実施してください。詳細については、第5章、「ユーザユーティリティ(ユーザシェーディング)」を参照してください。</li> </ul>
スキャンイメージの色が原稿の色とかなり異なる。	コンピュータディスプレイとモニタの設定を調整してください。
スキャンしたドキュメントに黒いシミや汚れが付く。	イメージングガイド(またはフラットベッドのガラス)とバックグラウンドバーをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。
スキャンイメージに縞模様や、波形のノイズなどのモアレ縞が発生する。	原稿の印刷パターンと選択されたスキャンの解像度が原因となって発生します。スキャン解像度を変更して、再度原稿をスキャンしてください。
VRSスキャンでの画像のクロッピングがうまくいかない。	バックグラウンドバーに紙片や埃がある可能性があります。確認後、バックグラウンドバーをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。



## ユーザユーティリティエラーコード

スキャン中に問題が発生した場合は、 アイコンをクリックして *Trüper* のユーザユーティリティを開きます。スキャナーのステータスメッセージとエラーコード情報を確認してください。次の表で、エラーコードとメッセージ、考えられる原因と解決法を説明します。

エラーコードとメッセージ	考えられる原因と解決法
<b>U11, U12, U13, U14, U15, U16, U17</b> 紙詰まりが発生しました。ドアを開けて紙を取り除いてください。	紙詰まり、またはドキュメント センサーが汚れている。 • ADF ドアと排紙ドアを開けて原稿を取り除きます。この章の前述の「紙詰まりの取り除き方」を参照してください。 • センサをクリーニングします。クリーニングの手順については、第 6 章、「メンテナンス」を参照してください。
<b>U18</b> 原稿がスキャナーに残っています。ドアを開けて原稿を取り除いてください。	紙詰まり、またはドキュメント センサーが汚れている。 • ADF ドアと排紙ドアを開けて詰まった原稿を取り除きます。この章の前述の「紙詰まりの取り除き方」を参照してください。 • センサをクリーニングします。クリーニングの手順については、第 6 章、「メンテナンス」を参照してください。
<b>U20</b> 傾きエラーが発生しました。	• ADF ドアと排紙ドアを開けて詰まった原稿を取り除きます。この章の前半にある「紙詰まりの取り除き方」を参照してください。
<b>U23</b> 重送が発生しました。ドアを開けて原稿を取り除いてください。	重送が発生したか、ローラが汚れている。 • ADF ドアと排紙ドアを開けて詰まった紙を取り除きます。この章の前半にある「紙詰まりの取り除き方」を参照してください。 • ローラをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第 6 章、「メンテナンス」を参照してください。
<b>U30, U32, U34</b> スキャナーのドアが開いています。ドアを閉じてください。	• ADF ドアをしっかりと閉めてください。
<b>Fxx</b> システムエラーが発生している。サービス&サポートに連絡してください。	• サービス&サポートに連絡してください。
<b>***警告***</b> ローラをクリーニングしてください。ローラを清掃してください。ローラのクリーニング後、[Clear Counter] ボタンをクリックしてください。	警告カウンタを超過しました。ローラのクリーニングが必要です。 • ローラをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第 6 章、「メンテナンス」を参照してください。ローラのクリーニング後、ユーザユーティリティに戻り、[Clear Counter] ボタンをクリックしてください。第 5 章の「[ユーザユーティリティ] ダイアログボックス」(スキャナーカウンタ)を参照してください。
<b>*** 警告 ***</b> ローラの交換が必要です。ローラを交換してください。ローラの交換後、[Clear Counter] ボタンをクリックしてください。	警告カウンタを超過しました。ローラの交換が必要です。 • ローラを交換してください。交換手順については、第 6 章、「メンテナンス」を参照してください。ローラの交換後、ユーザユーティリティに戻り、[Clear Counter] ボタンをクリックしてください。第 5 章の「[ユーザユーティリティ] ダイアログボックス」(スキャナーカウンタ)を参照してください。
<b>*** 警告 ***</b> 表面ランプのエラーが発生しています。ランプまたはセンサを交換してください。	ランプとセンサ (表面) の交換寿命です。 • サービス&サポートにご連絡ください。

エラーコードとメッセージ	考えられる原因と解決方法
<p><b>*** 警告 ***</b> 裏面ランプのエラーが発生しています。 ランプまたはセンサーを交換してください。</p>	<p>ランプとセンサ（裏面）の交換寿命です。 • サービス&amp;サポートにご連絡ください。</p>
<p><b>*** 警告 ***</b> 表面の基準プレートを交換する必要があります。 表面の基準プレートをクリーニングしてください。</p>	<p>上のバックグラウンドバーが汚れています。 • 上のバックグラウンドバーをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。</p>
<p><b>*** 警告 ***</b> 裏面の基準プレートを交換する必要があります。 裏面の基準プレートをクリーニングしてください。</p>	<p>下のバックグラウンドバーが汚れています。 下のバックグラウンドバーをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第6章、「メンテナンス」を参照してください。</p>
<p>スキャナーが接続されていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スキャナーが接続されていない場合は、スキャナーを PC に接続し、スキャナーの電源を入れてコンピュータを再起動してください。</li> <li>• スキャナーの電源が入っていない場合は、オンにして、コンピュータを再起動してください。</li> <li>• スキャナーが使用可能になる前にコンピュータの電源が入っていなかった場合は、コンピュータを再起動してください。</li> </ul>

## スキャナーの LED ステータス

LED の色はスキャナーのステータスを示します。

LED	ステータス
緑色で点灯	スキャン準備完了またはスキャン中です。
緑色で点滅	スリープモード。
緑色/オレンジ色で点滅	重送を検出しないように設定されています。
オレンジ色で点灯	ローラのクリーニングまたは交換が必要です。スキャン続行可能です。
オレンジ色で点滅	初期化中、または警告付きのスリープモード。ユーザユーティリティを使用してスキャナーの状態を確認してください。
赤色	エラーが発生しました。ユーザユーティリティを使用してスキャナーの状態を確認してください。

## サービスセンターへの問い合わせ

1. フリーダイヤル 0120-085-580 にご連絡下さい。
2. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
  - 障害の内容
  - スキャナーのモデル名とシリアル番号
  - コンピュータの構成
  - 使用しているソフトウェアアプリケーション

# 付録 A 仕様

内容	仕様.....	A-1
	システム要件 .....	A-2
	設置要件.....	A-3

機能	仕様	
スキャンモード	片面（シンプレックス）、両面（デュプレックス）	
スキャン方式	Direct CCD (charge coupled device)。LED ランプ。	
スキャン速度 200 dpi、レターサイズ、横方向	白黒 / カラー。 片面：90 枚 / 分 両面：180 イメージ / 分 注意：表記のスキャン速度は、テスト環境での結果です。実際の速度は、PC のメモリ容量、OS、スキャン用ソフトウェアや文書管理ソフトウェアによって異なります。	
解像度（フラットベッド、ADF）	白黒 / グレースケール（VRS 使用）：100、150、200、240、300、400、600 dpi カラー（VRS 使用）：100、150、200、240、300、400 dpi 光学解像度：600 dpi	
出力オプション	白黒、グレースケール（8 ビット）、カラー（24 ビット）	
イメージ拡張機能	自動クロッピング、自動輝度コントラスト調整、自動カラー検出、自動回転、白紙ページ削除、バーコード認識	
原稿サイズ	フラットベッド：11.7 x 17 インチ (297 x 432 mm) ADF：約 1.9 x 2.8 インチ (48 x 70 mm) ~ 11.9 x 100 インチ (302 x 2540 mm) 注意：14 インチ (356 mm) のリーガル サイズより長い用紙をスキャンする場合は、300 dpi 未満の解像度で 1 枚ずつ給紙することをお勧めします。	
紙の厚さ	2.0 ~ 5.9 mil (0.05 ~ 0.15 mm) 注：1 mil = 1/1000 インチ。	
用紙重量 (ADF)	10.6 ~ 34 ポンド (40 g/m <sup>2</sup> ~ 127 g/m <sup>2</sup> )	
フィーダ容量	200 枚 (17-lb) (64 g/m <sup>2</sup> ) 用紙の場合	
外形寸法（開梱時）	30 x 20 x 11.4 インチ (76 x 51 x 29 cm) 原稿カバーを開いた状態での高さは 22 インチ (56 cm)	
重量（開梱時）	64 ポンド (29 kg)	
インタフェース	USB 2.0 対応（専用ケーブル付属）	
電源要件	AC 100-120 V、50/60 Hz、1.2 A	AC 220-240 V、50-60 Hz、0.6 A
電力消費 最大（スキャン時）	< 90 W	< 80 W
最小（スタンバイ時）	< 27 W	< 27 W
スリープモード	< 1.4 W	< 1.4 W

機能	仕様
環境 使用環境温度、湿度	59° ~ 95°F (15°C ~ 35°C)、20 ~ 80% RH 結露なし
保管温度、湿度	32° ~ 95°F (0°C ~ 35°C)、30 ~ 80% RH
1日あたりの処理量	15,000 ページ
追加機能	ユーザ交換可能な給紙ローラ、カラードロップアウト（赤、緑、青）、切り替え可能なバックグラウンド、超音波重送検知、バーコード認識
同梱物	電源コード、USB 2.0 ケーブル、ローラクリーニング キット、CD-ROM（ユーザガイド、VRS Professional、ユーザユーティリティ ソフトウェア）、印刷物（クイック インストール チェックリスト）
同梱ソフトウェア	Kofax VCDemo、Kofax Scan デモ用ソフトウェア
インプリンタ オプション 印字可能文字数	スキャン前、表面 VCDemo、62 文字、ISIS 文字 注：スキャンアプリケーションによって印字できる文字数が異なりますのでご注意ください

## システム要件

コダック Trüper 3210 および 3610 スキャナーを使用するための最小システム推奨構成は以下のとおりです。

### 最小要件

- Pentium 4 プロセッサ、1.4 GHz 以上
- メモリ：256 MB 以上
- インストール用に 300 MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- モニタの解像度：800 x 600 以上
- CD ROMドライブ
- Microsoft Internet Explorer 5.01 以上

### 推奨要件

- Intel Core 2 Duo/AMD Athlon 64 X2
- メモリ：2 GB 以上
- HDD: 250 GB (7200 rpm) 以上
- モニタの解像度：1024 x 768 以上
- CD ROMドライブ
- Microsoft Internet Explorer 6 以上

### オペレーティング システム

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP Professional (32 bit)
- Microsoft Windows Vista

**ディスプレイ** : 解像度 1024 x 768 以上、65,536 色以上

**インターフェース** : USB 2.0 対応

注 :

- スキャナーを USB ハブに接続しないでください。動作保証はありません。
- ハードディスクに 1 GB 以上の空き容量があることを確認してください。
- ご使用になるコンピュータのシステムおよび、スキャニング用アプリケーション、文書管理ソフトウェアによっては、大きなカラー画像を高解像度でスキャンできない場合がありますのでご注意ください。

## 設置要件

スキャナーを利用するためには、以下の要件を推奨します。スキャナーの上部および両側に推奨クリアランスを設けることで、必要な通気と、スキャナーのメンテナンス作業に必要なスペースが確保できます。

- 原稿カバーを開くために必要な**上部**クリアランス: 27.6 インチ (700 mm)
- **両側** : 7.9 インチ (200 mm)
- 排紙が停止した場合に原稿を引き出すための**前面**クリアランス: 11.8 インチ (300 mm)
- コンピュータのインターフェースの抜き差しに必要な**背面**クリアランス : 13.8 インチ (350 mm)

## 付録 B インプリンタの取り付けと使用

### 内容

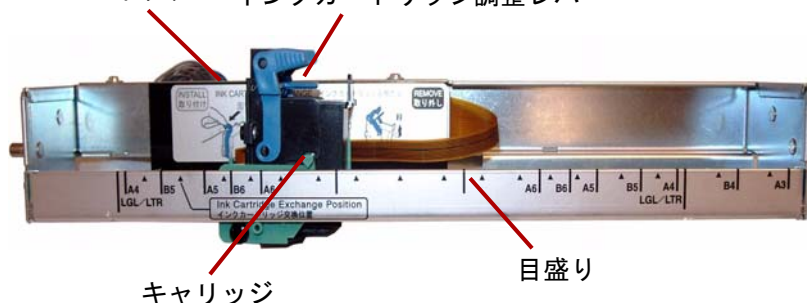
インプリンタのコンポーネント.....	B-1
インプリンタの取り付け .....	B-1
インクカートリッジの取り付けと印字位置.....	B-3
インクカートリッジの取り付け .....	B-3
印字位置の調整 .....	B-4
印字位置の表 .....	B-5
インクカートリッジのクリーニング .....	B-6
プリントヘッドの自動クリーニング .....	B-6
プリントヘッドの手動クリーニング .....	B-6
インクカートリッジの交換.....	B-6
インクカートリッジの仕様.....	B-7
印字文字列の設定 .....	B-7

この付録では、オプションのインプリンタの取り付けと使用手順、およびインクカートリッジの取り付けと交換方法について説明します。アクセサリと消耗品の注文に関しては、第6章、「メンテナンス」の「消耗品と消耗品」のセクションを参照してください。

### インプリンタのコンポーネント

インプリンタのコンポーネントを、以下に示します。

コネクタ    インクカートリッジ調整レバー

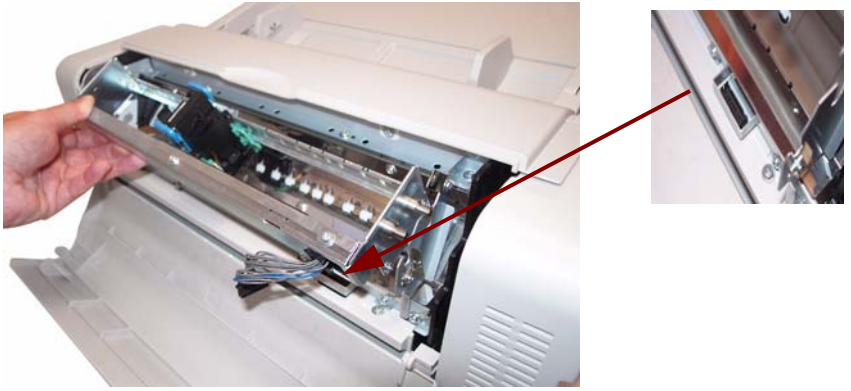


### インプリンタの取り付け

1. スキャナーの電源を落とします。
2. インプリンタのドアを開きます。

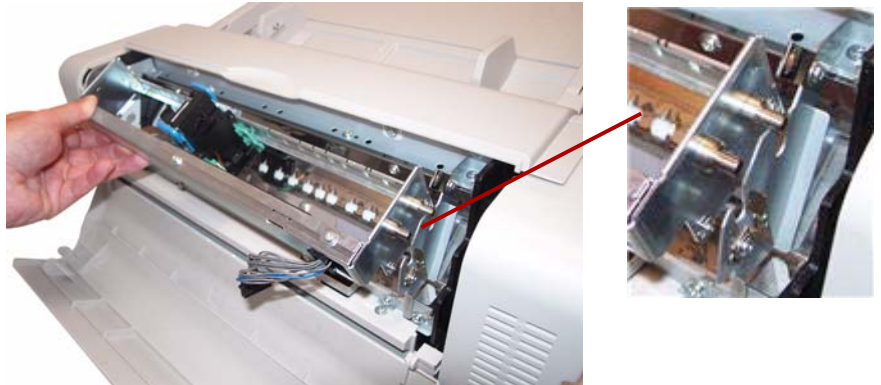


3. インプリンタのケーブルをスキャナーのコネクタに接続します。

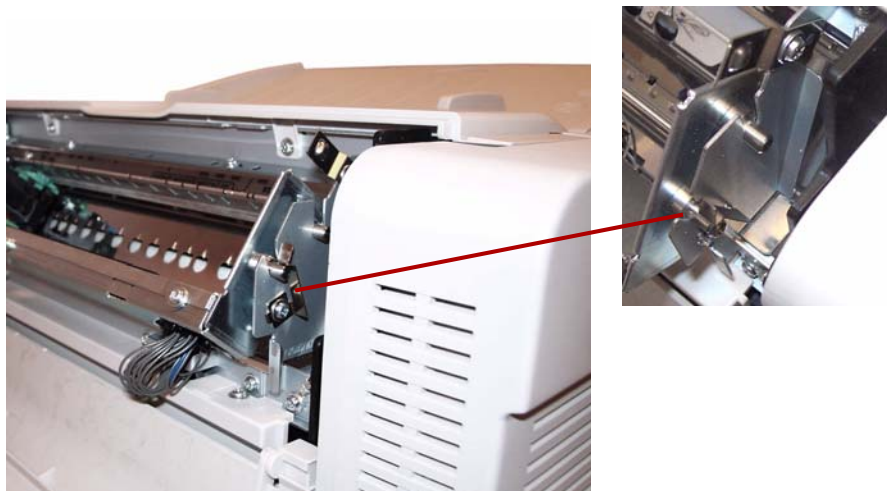


注：コネクタを接続する前に、インプリンタケーブルのコネクタ形状がスキャナーコネクタの溝と合うかどうかご確認ください。

4. インプリンタの上部のピンを金具のガイドに挿入します。ピンのコネクタをガイドに合わせます。



5. 下部のピンを金具のガイドに挿入します。ピンのコネクタをガイドに合わせます。スプリングで固定されるまで、ピンを慎重に挿入します。



6. インプリンタのドアを静かに閉めます。

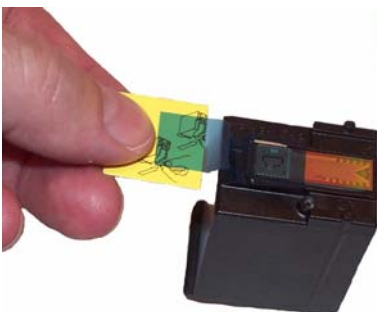
## インクカートリッジの 取り付けと印字位置

インクカートリッジを取り付ける前に、注意事項を確認してください。

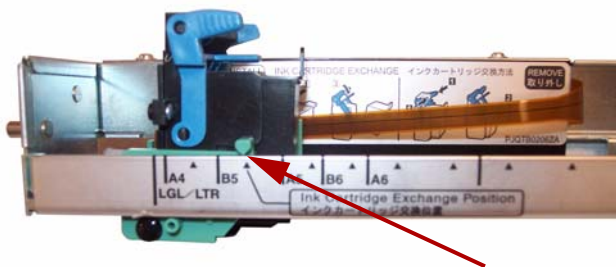
- プリントヘッドには手や汚れたもので触れないようにしてください。
- インクカートリッジに記載された日付が過ぎている場合、またはインクカートリッジのパッケージを開けてから 6 カ月以上経過している場合は、印字品質が低下することがあります。
- 保管温度が 32°F から 104°F (0°C から 40°C) の間であることを確認してください。
- 直射日光の下でインクカートリッジを保管しないでください。
- インクカートリッジをアルコールでクリーニングしないでください。
- インクが皮膚に触れないようにしてください。
- インクが目に入った場合は、きれいな水でよく洗ってください。目を洗っても炎症または痛みが治まらない場合は、直ちに医師の診察を受けるようにしてください。
- インクカートリッジを焼却しないでください。

## インクカートリッジの取り付 け

1. インクカートリッジから保護テープをはがしてください。

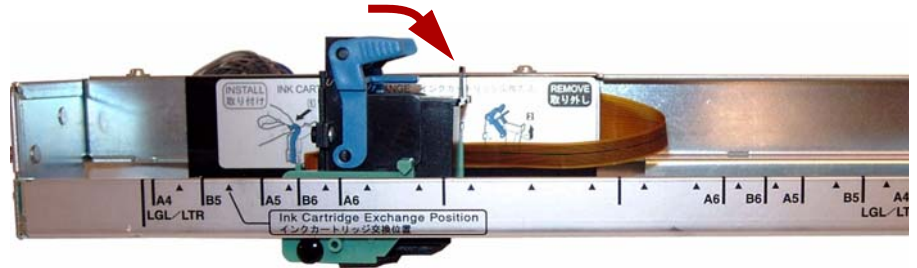


2. インプリンタ ユニットのキャリッジをインクカートリッジ交換の位置に移動してください。





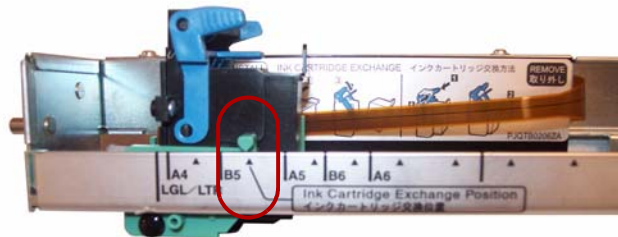
3. インクカートリッジをキャリッジに挿入し、カートリッジ調整レバーを固定します。



## 印刷位置の調整

スキャン原稿に印字するには、スキャン原稿のサイズに応じてキャリッジの位置を調整してください。キャリッジのタブがいずれかの目盛りと合うように、キャリッジを移動します。

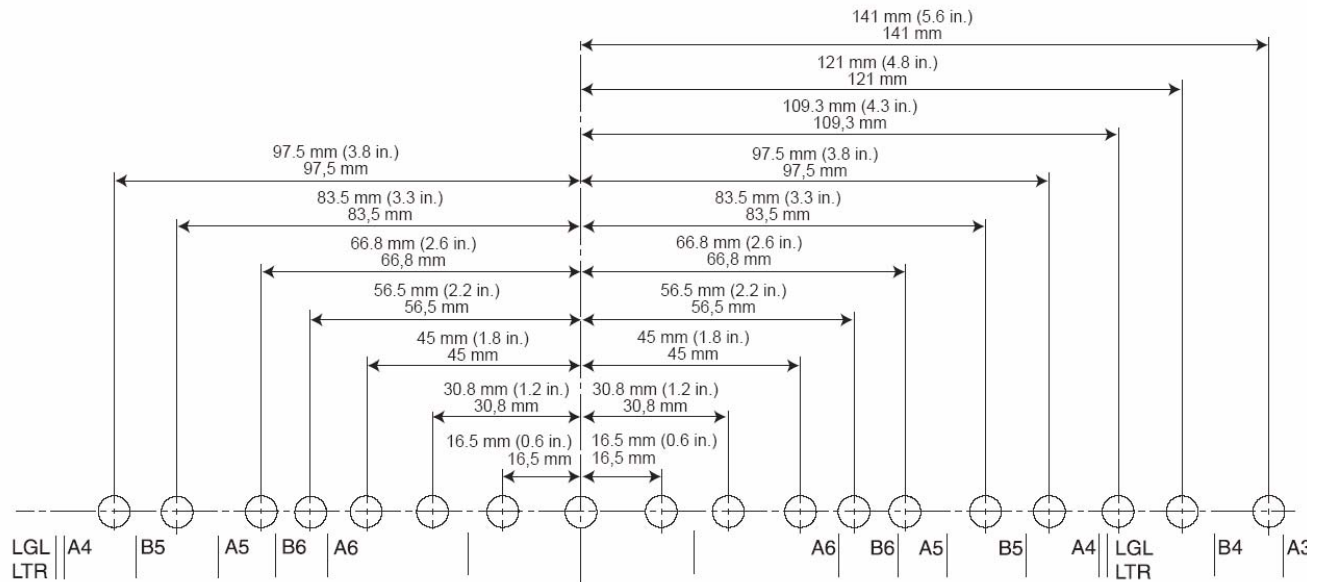
- 原稿の右側に印字するには、キャリッジを目盛りの右側に移動します。
- 原稿のの左側に印字するには、キャリッジを目盛りの左側に移動します。



注：プリンタのキャリッジのタブをいずれかの目盛りと合わせてください。キャリッジが正しくセットされていないと、インプリンタは印字できません。

## 印字位置の表

この表は、原稿サイズに応じてプリンタ位置調整時に選択する印字位置を示します。



この他の印字設定については、スキャン用アプリケーションまたは文書管理ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

注：用紙の種類によっては、インプレッタのインクがスキャナー内部に付着することがあります。たとえば、スキャナーのローラにインクが付着することがあります。付着した場合は、ローラクリーニングパッドを使用して付着した箇所をクリーニングしてください。

## インクカートリッジのクリーニング

インクカートリッジのヘッドが汚れていたり、インクカートリッジが長期間使用されていない場合は、正しく印字できないことがあります。

### プリントヘッドの自動クリーニング



1. [ユーザユーティリティ] アイコンをクリックして、ユーザユーティリティを開きます。
2. [Clean Imprinter] をクリックします。このオプションは印字品質の向上だけを行います。このオプションは、インプリンタが接続されている場合に使用できます。

### プリントヘッドの手動クリーニング

1. 次のセクションの説明にしたがって、インクカートリッジを取り外します。
2. 湿らせたティッシュペーパーでプリントヘッドをそっと拭いて、クリーニングします。



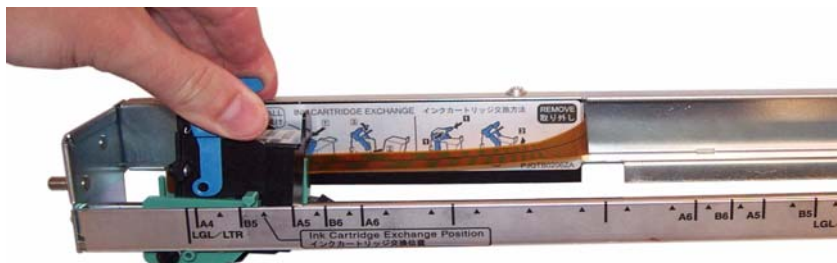
**注意：**プリントヘッドのクリーニングには、アルコールが含まれた材料や、クリーニングパッドは使用しないでください。

## インクカートリッジの取り外し

1. インプリンタユニットのキャリッジをインクカートリッジの交換位置に移動します。



2. カートリッジ調整レバーをひねって、カートリッジを取り出します。



**インクカートリッジの廃棄：**HP（ヒューレット・パカード社）のウェブサイト参照し、地域の法規に従って、プリンタの消耗品のリサイクルまたは廃棄してください。

## インクカートリッジの仕様

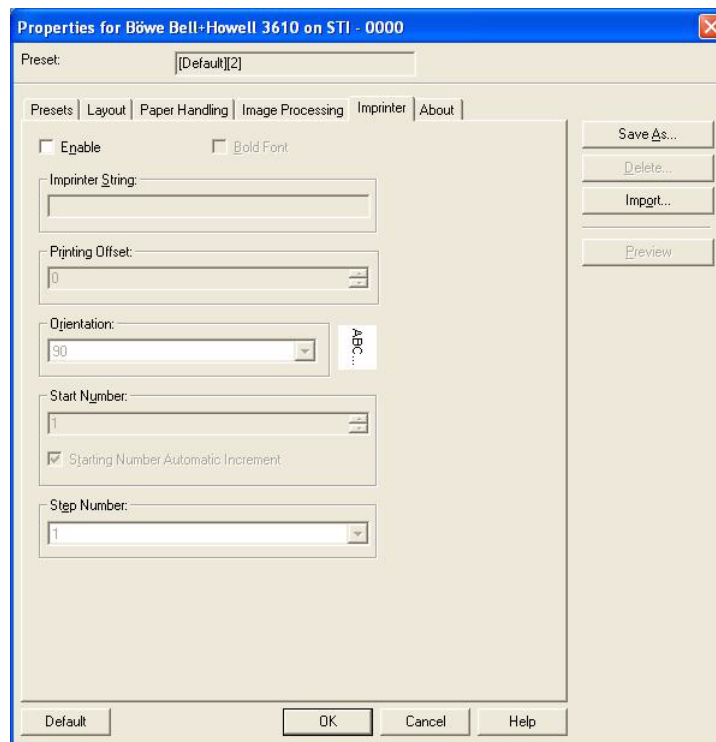
オプションのインプリンタユニットと交換用のインクカートリッジは、販売代理店から購入できます。第6章、「メンテナンス」の「アクセサリと消耗品」を参照してください。

インクカートリッジの寿命	(標準フォントで) 約 400 万文字。 (太字フォントで) 約 200 万文字。
印字可能文字数	VCDemo 使用時 62 文字。アプリケーションによって印字できる文字数は異なりますのでご注意ください。
ノズル	12
印字対象外の原稿	プラスチックの用紙や表面加工されている紙は印字できません。
保存環境	温度 : 32°F ~ 104°F (0°C ~ 40°C) 湿度 : 10% ~ 80% RH
使用環境	温度 : 59°F ~ 86°F (15°C ~ 30°C) 湿度 : 30% ~ 80% RH

## 印字文字列設定

インプリンタは、スキャン前に原稿の表面に印字し、印字結果がスキャン後のイメージに反映されます。

1. インプリンタを設定するには、**[Imprinter]** をクリックします。



[Imprinter Settings] ダイアログボックスが表示されます。



2. **[Enable]** をクリックします。
3. 太字を指定する場合は、**[Bold Font]** をクリックします。
4. **[Imprinter String]** フィールド内に、印字したい文字を入力してください。

注：以下の表に記載した記号や英数字を印字できます。日付や時刻などのその他の情報も指定できます。最大 72 文字を印字できます。

SP	!	'	#	\$	%	&	'	(	)	?		,	-	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8
9	:	<	=	>	?	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	]	^	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	
l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}						

5. **[printing offset]** フィールドにオフセット値を入力します。この値には、10 mm 分のオフセットが追加されます。  
**単位**：2.38 mm ずつ増分（印字方向：90, 270°）  
 1: 12.38 mm  
 2: 14.76 mm  
**単位**：3.44 mm ずつ増分（印字方向：00, 180°）  
 1: 13.44 mm  
 2: 16.88 mm
6. **[Start Number]** フィールドには、カウンタの初期値を入力します。
7. **[Step Number]** フィールドには、カウンタの増分値を入力します。
8. 印字方向を **[Orientation]** のドロップダウンリストから選択します。
9. 必要に応じて、**[Starting Number Automatic Increment]** チェックボックスを選択しておく、スキャン開始時の番号を自動的に増分し、スキャン完了時に、スキャンページ数を増分数で乗じた値が追加されます。
10. **[OK]** をクリックします。

## 付録 C メモリの追加

---

スキャナーには 64 MB の標準メモリが搭載されています。原稿のサイズやイメージ解像度などのスキャン条件によっては、追加メモリが必要になることがあります。たとえば、A3 などの大型原稿の両面スキャンや、600 dpi の解像度でのカラースキャンでは追加メモリが必要な場合があります。

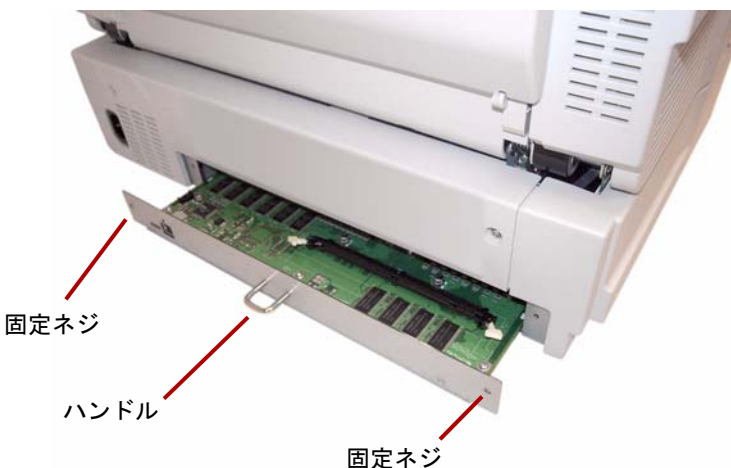
追加メモリが必要な場合は、メモリアップグレードキットを購入する必要があります。詳細については、第 6 章、「メンテナンス」の「アクセサリと消耗品」を参照してください。

注：このアップグレードキットは、PC のメモリなど、メモリモジュールの取り付け作業に詳しい方が作業してください。メモリモジュールの取り付けに不安がある場合は、サービスプロバイダ、またはシステム管理者にご連絡ください。

**注意：**このキットには、静電気放電 (ESD) の影響を受けやすい部品が含まれています。

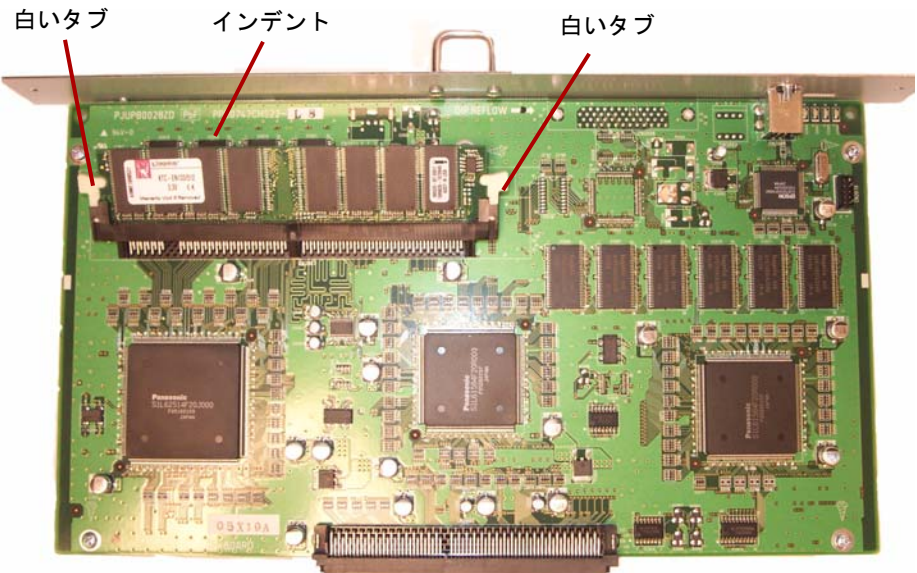
### DIMM モジュールの 取り付け

1. スキャナーの電源を落とします。
2. 電源の差込口からスキャナーのコンセントを抜き、インターフェースケーブルを取り外します。
3. インターフェイスボードから固定ネジを 2 本取り外し、安全な場所に保管します。



4. ハンドルを引いて、インターフェースボードを取り出します。  
**注意：**ユニットの内部に手を触れないでください。

5. DIMM モジュールを、インターフェイスボードのモジュールコネクタに斜めに挿入します。
6. モジュール コネクタの白いタブが DIMM モジュールを正しい位置に固定されるまで、モジュールをユニットに押し込みます。



7. DIMM モジュールを挿入したとき、DIMM モジュールのインデントが左側にあることを確認してください。インデントがこの位置にないと、DIMM モジュールは正しく挿入されません。

注： DIMM を取り外す場合は、白いタブをモジュールコネクタの両側から引き、DIMM モジュールを開放します。その後、慎重にモジュールを取り外してください。

8. インターフェイスボードをスキャナー内部のレールに沿って挿入し、ユニットに取り付けます。
9. 固定されるまで、ボードをしっかりと押し込みます。



10. インターフェイスボードが挿入され、所定の位置に固定されたのを確認したら、インターフェイスボードを、2つの固定ネジで固定します。

**RGB** — 色の 3 元素 : 赤、緑、青。

**USB(ユニバーサル シリアル バス)** — スキャナーとホストコンピュータ システムを接続し、操作するデータ転送システム。

**VRS (VirtualReScan)** — スキャンしたイメージの電子的なチェックポイントです。イメージがスキャナーを通るときに、VRS によって複数ポイントで原稿毎に確認されます。VRS は傾き、輝度、コントラスト、イメージの鮮明さを自動的に確認、調整します。

**インプリンタ** — 原稿を取り込む際に、スキャン前の原稿の表面に英数字の文字列を表面に印字するオプションのアクセサリ。

**エラーメッセージ** — [ ユーザユーティリティ ] ダイアログボックス内に表示されるメッセージ、または LED ステータスインジケータの点灯です。エラーメッセージは、スキャナーで問題が発生した時点で表示されます。

**クロップ (オートクロップ)** — このソフトウェア オプションでは、自動的に原稿の境界を検出し、各ページのサイズサイズ毎にクロッピングします。

**フラットベッドシート** — バックグラウンドプレートと一緒に使用する部材で、スキャン原稿の背景色を変更できます。

**マルチカラードロップアウト** — 白黒モードでスキャンする際に、カラー原稿から最大 6 色をドロップアウトします。

**解像度** — スキャナーによる対象物の再現能力を示します。スキャナーでは、解像度が高いほど、より小さな対象を再現できます。解像度は、1 インチあたりのドット数 (dpi) で表します。

**傾き** — 原稿がまっすぐ給紙されなかったときに発生する現象。画面に表示すると歪んだり傾いて見えます。また印字文字列も傾斜します。傾きを最小限に抑えるには、原稿を原稿ガイドに揃えます。

**傾き補正** — スキャン後にイメージの傾きを自動的に修正します。ソフトウェア、またはスキャナー上のファームウェアを使用して実行します。

**自動ドキュメントフィーダ (ADF) モード** — 手差し給紙でなく、自動的に文書が原稿フィーダに給紙されるスキャナーのモードです。

**手差しモード** — フィーダを自動ではなく、手差しで給紙するスキャナーのモードです。

**重送** — 複数枚の原稿が一度に給紙されると発生します。

**書類搬送** — 原稿をスキャナーに通す機構。

**単色ドロップアウト** — 白黒モードでスキャン時に、カラー原稿から単色 (赤、緑、青のいずれか) をドロップアウトします。

**搬送システム** 「書類搬送」を参照してください。

**搬送路** — 原稿がスキャナーを通過するカーブ型の経路。

**片面スキャナー** — スキャン時に原稿の片面だけをスキャンするように設計されているスキャナー。

**両面スキャナー** — 原稿の両面を 1 度でスキャンできるスキャナー。

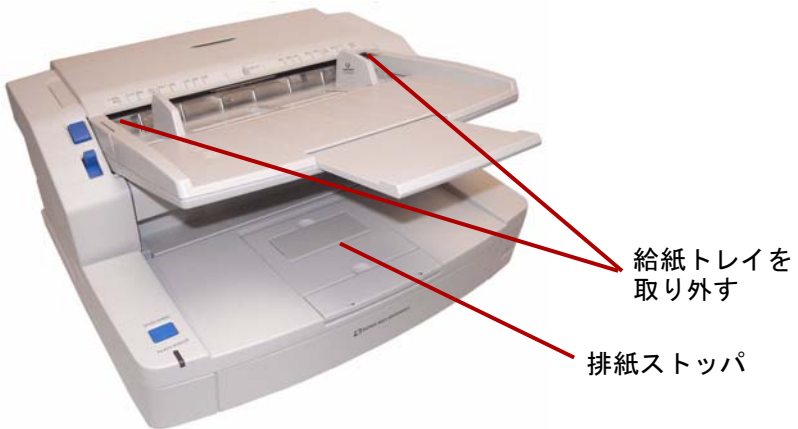


## 付録 E スキャナーの梱包

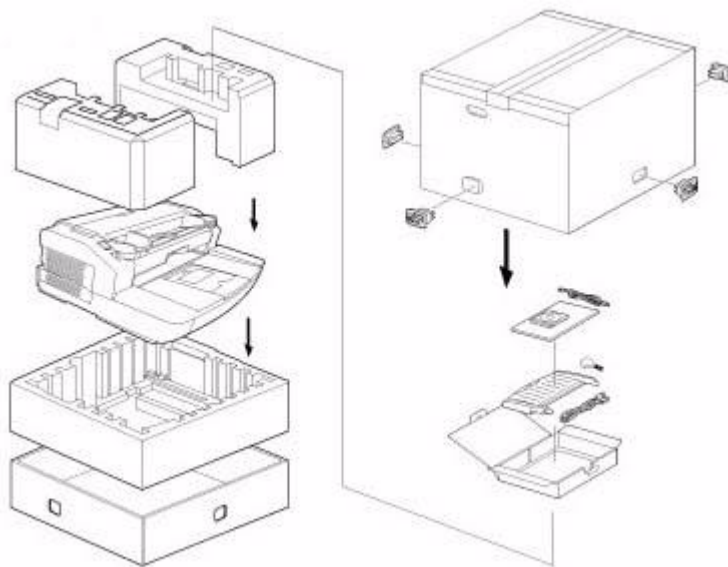
スキャナーを移動したり、発送する必要がある場合は、次のガイドラインに従って梱包してください。

- スキャナーの梱包用資材と箱を使用します。荷造り用のテープとはさみも必要です。
- 不適切な梱包は、搬送や荷造りの際に損傷を受ける原因となります。
- スキャナーは常に水平の状態を取り扱ってください。

1. スキャナーの電源を切ります。電源の差込口から電源ケーブルを抜き、インターフェースケーブルを取り外します。
2. 給紙トレイを外し、排紙ストッパを折りたたみます。トレイを保護シートで包みます。プラスチック材をテープで固定します。



3. 梱包用資材と箱を使用してスキャナーを梱包します。



# Kodak

コダック株式会社  
東京都千代田区神田駿河台 2-9  
KDX 御茶ノ水ビル  
Rochester, NY 14650 U.S.A.  
© Kodak, 2010. All rights reserved.  
TM: Kodak, Trüper